

第2次老松地区地域づくり計画

おもしろく おがすぐ さざほざど



令和4年5月

老松みどりの郷協議会

は じ め に

日頃、老松地区の皆様には、温かいご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、平成26年6月29日に当協議会を立ち上げ、翌年6月に「老松地区地域づくり計画」を策定し、6年目にして計画の点検をしたところ、事業が完了したものや進んでいないもの、また新たな課題も見えてきたところです。

平成27年4月に一関市立老松公民館は一関市老松市民センターに移行され、平成31年4月から指定管理を受けて4年目になりました。

当協議会では市民センターの指定管理にあたり事務局体制を整備し、社会教育事業を推進するとともに地域づくりの拠点施設として、地域住民による地域づくり活動が活発に行われるようになりました。

昨今、地域社会を取り巻く環境は年々変化してきており、老松地区におきましても少子高齢化とともに人口減少が続いており、集落では地域行事への参加や共同活動が困難になってきているところも見られます。

しかし、ここに生まれ、ここに育ち、ここに住んで、この地域と向きあって暮らしていかなければなりません。

この度、コロナ禍ではありましたが多くの方々からご意見をいただき、地域づくり計画を見直すことができました。この計画を基に、各集落や構成団体、そして地域の皆さんと地域づくりを進めて参りますので、更なるご協力をお願いいたします。

この計画の策定にあたり、集落公民館長や行政区長をはじめ集落懇談会に参加いただきました皆様、親子アンケートにご回答いただきました方々に心から感謝を申し上げます。

令和4年5月



花拓里の館とおいまつ柿

目 次

はじめに

第1章 地区の概要

1 地理と概況	5
(1) 地 勢	
(2) 位置と面積	
2 世帯と人口	6
(1) 世帯数と人口の推移	
(2) 行政区ごとの人口	
(3) 年代ごとの人口	
3 老松みどりの郷協議会の活動	8
(1) 沿 革	
(2) 組 織 図	
(3) 地域づくり事業の推進	
(4) 老松市民センターの指定管理	
(5) そのほかの活動	

第2章 地域づくり計画

1 地域づくりの方針	12
(1) 目 的	
(2) 分野ごとの方針	
(3) スローガン	
2 推進体制と全体事業の推進	13
3 分野ごとの計画	15
(1) 生活環境分野	
(2) 産業振興分野	
(3) 防災安全分野	
(4) 地域福祉分野	
(5) 体育振興分野	
(6) 教育文化分野	

第3章 集落ごとの地域づくり計画

1	蛭沢集落	・ ・ ・ ・ ・	27
2	四日市場集落	・ ・ ・ ・ ・	29
3	水沢集落	・ ・ ・ ・ ・	32
4	汁足集落	・ ・ ・ ・ ・	35
5	御組集落	・ ・ ・ ・ ・	37
6	佐野原集落	・ ・ ・ ・ ・	39
7	宿集落	・ ・ ・ ・ ・	42
8	藤田集落	・ ・ ・ ・ ・	45
9	宮沢集落	・ ・ ・ ・ ・	48
10	上集落	・ ・ ・ ・ ・	50
11	館平集落	・ ・ ・ ・ ・	53
12	照盛集落	・ ・ ・ ・ ・	56
13	小沼集落	・ ・ ・ ・ ・	59

資料編

1	行政区ごとの人口等の推移	・ ・ ・ ・ ・	63
2	アンケート結果	・ ・ ・ ・ ・	66
3	協議会規約と役員名簿	・ ・ ・ ・ ・	75

第 1 章 地区の概要

1 地理と概況

(1) 地 勢

老松地区は、花泉町の中心部を南北に流れる金流川の東側に位置し、北に金沢地区、東の丘陵を境に日形地区、南に永井地区、西に金流川を挟み涌津・花泉地区と接する南北に細長い農村地帯です。

平成 10 年から金流川沿岸の圃場は2度目の区画整備が行われ、平成 22 年に完了。平成 26 年 8 月に、その圃場内をとおり国道 342 号花泉バイパスが全線開通し、花泉町市街の交通が緩和された一方、当地区の交通量が多くなりました。

地区中心部には老松小学校と老松市民センターがあり、西側には花泉総合福祉センターと花泉体育館があり、それぞれの施設は災害時の避難所になっています。

しかし、老松小学校は令和4年度をもって閉校になり、川向に建設される新花泉小学校に統合されます。

地区の南側に位置する花と泉の公園は、毎年5月に、ぼたん・しゃくやく祭りが開催され、市内外から多くの観光客が訪れ賑わいを見せています。ベコニア館は施設の老朽化のため改修され、令和4年度からは室内型子どもの遊び場にリニューアルオープンいたしました。

老松地区は、明治8年に旧峠村と旧男沢村が合併して、老松村となりました。名称の由来は、宮沢の千葉大学という人の邸内に、周りが 1 丈位、枝が6間余りに広がっている笠松の銘木があり、この松に因んで「老松」となったと云われています。

先人には、義民千葉惣左エ門や和算家の千葉胤秀、医学者の千葉理安を輩出しており、その屋敷等の文化資料は、地域により保存活用されています。

(2) 位置と面積

老松地区:15.09km²（花泉町:126.83km²、一関市：1,256.42km²、岩手県15,275km²）



2 世帯と人口

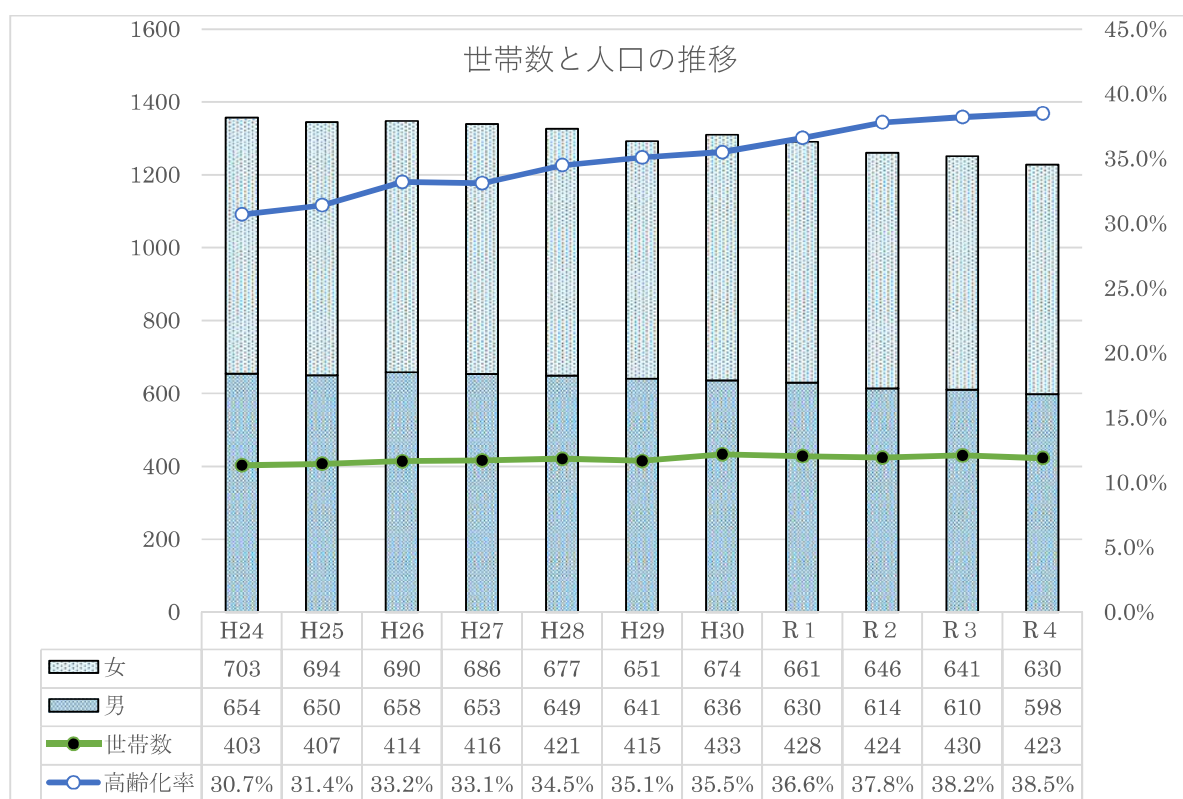
(1) 世帯数と人口の推移

老松地区の人口は、花泉町の人口と同じように昭和 25 年ころピーク（老松 2,343 人、花泉町 23,389 人）に、その後は緩やかに減少しています。

高齢化率（65 歳以上の人口割）は、令和 4 年 4 月 1 日現在で 38.2%になっています。

また、人口が減少している中、世帯数が増加していることから、核家族世帯の増加や 1 世帯当たりの家族数が減少しているためと考えられます。

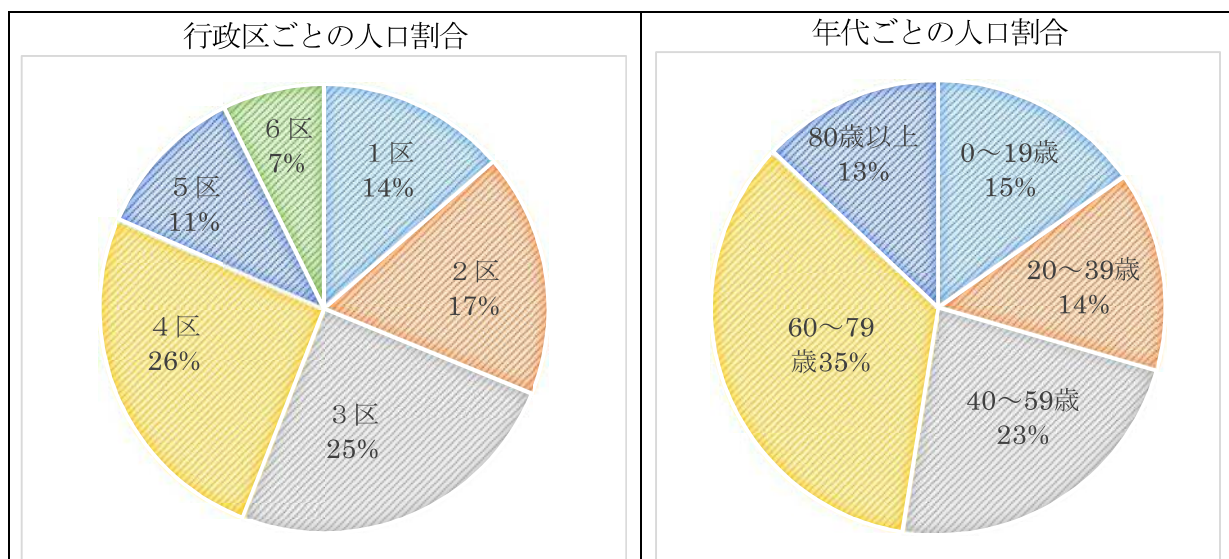
なお、平成 26 年には北上川狭隘地区治水対策事業により藤沢町や日形下清水、沼田地区からの移住があり増加し、平成 30 年にも若干の増加がありました。今後は少子高齢化とともに人口減少がますます進むものと予測されます。



(2) 行政区ごとの人口

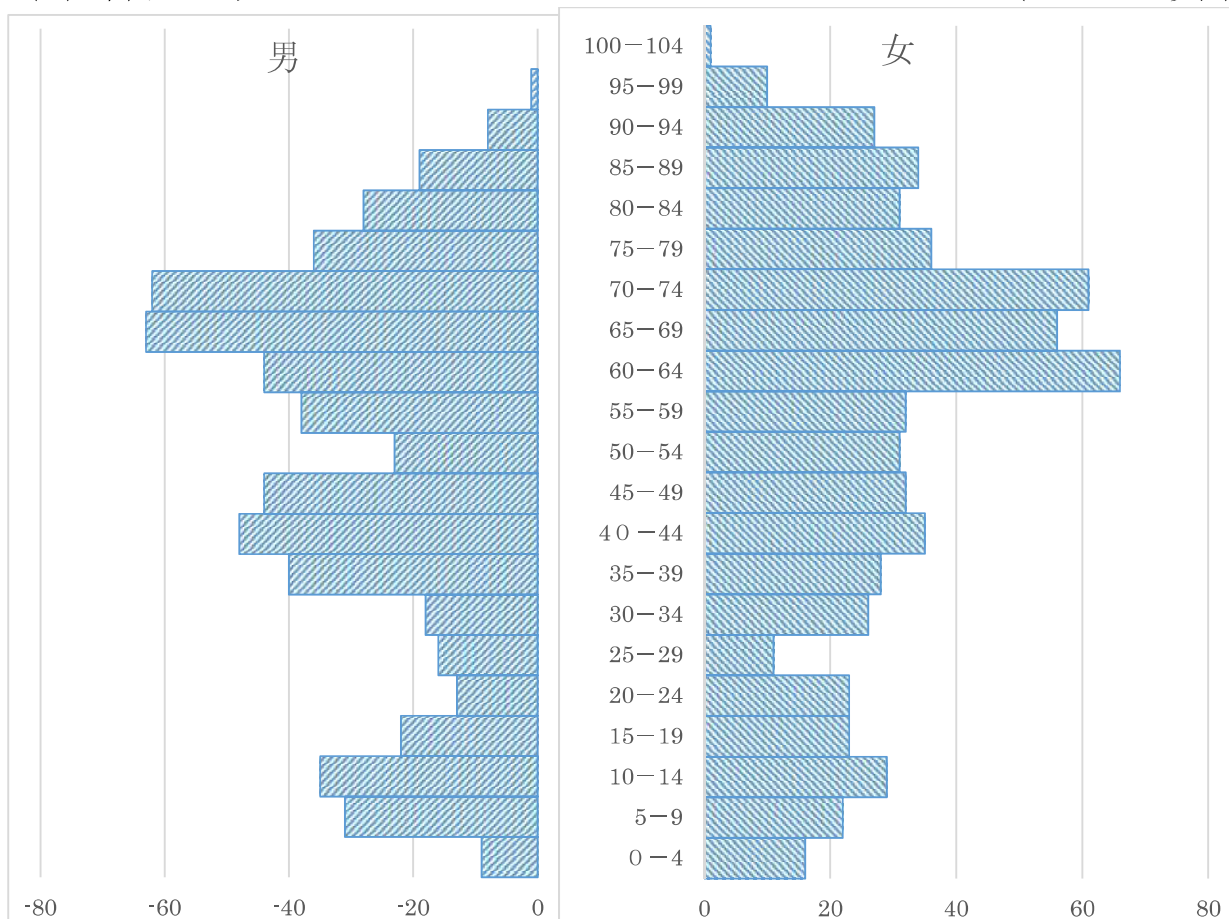
(R 4. 4. 1 現在)

年 代	1 区	2 区	3 区	4 区	5 区	6 区	合計
0～19 歳	2 6	3 4	3 9	5 6	1 6	1 5	1 8 7
20～39 歳	2 2	3 2	5 4	4 1	1 7	9	1 7 5
40～59 歳	3 9	5 8	7 2	7 2	2 1	2 1	2 8 3
60～79 歳	6 1	6 8	9 9	1 0 7	5 8	3 1	4 2 4
80 歳～	1 8	2 3	3 9	4 1	2 4	1 4	1 5 9
合 計	1 6 7	2 1 5	3 0 3	3 1 7	1 3 6	9 0	1, 2 2 8



(3) 年代ごとの人口

(R 4. 4. 1 現在)



3 老松みどりの郷協議会の活動

(1) 沿 革

老松地区では、平成24年度から住民主体の地域づくりを進めるために、集落公民館長や行政区長をはじめ各種団体の代表者による「YOIMACHI づくり講座」を旧老松公民館事業で開催し、地域課題の掘り起しやその対応策などを検討しました。

また、地域づくりの母体となる地域協働体について学習するため、県内外の地域協働体を調査し、老松地区に合った組織体制も検討しました。

平成26年5月に「YOIMACHIづくり講座」対象者を地域協働体設立準備会委員に委嘱し、協働体立ち上げの準備を進め、6月29日に「老松みどりの郷協議会」を設立しました。

平成26年6月 老松みどりの郷協議会を設立

8月 老松地区夏まつりを開催

平成27年4月 市内の市立公民館が市民センターに移行

4月 ひとまち応援金を活用しての地域づくり事業を開始

6月 老松地区地域づくり計画を策定

平成28年6月 若者ミーティングの開始

平成29年1月 フェイスブック開始

2月 みどりの郷メールの配信開始

平成30年1月 第1回文化事業の開催

4月 市民センター指定管理に向けての規約・体制づくりを始める

9月 地域づくり計画及び組織の点検・見直し作業会議を開始

平成31年3月 総会で老松市民センターの指定管理の受託を決定

平成31年4月 市民センターの指定管理を開始

4月 放課後子ども教室を受託

令和元年11月 災害時等における避難場所等の運営の協力に関する協定を締結

令和2年2月 新型コロナウイルスの感染拡大防止のためセンター事業などを自粛

5月 老松みどりの郷協議会臨時総会で規約と組織体制の変更

7月 地域づくり計画の点検と新たな課題の掘り起しに着手

8月 地区内13の集落で集落課題懇談会を開催

12月 一関市長に地域づくりに関する「老松地区提案書」を提出

令和3年1月 第4回文化事業の開催（アメリカからのリモート講演会）

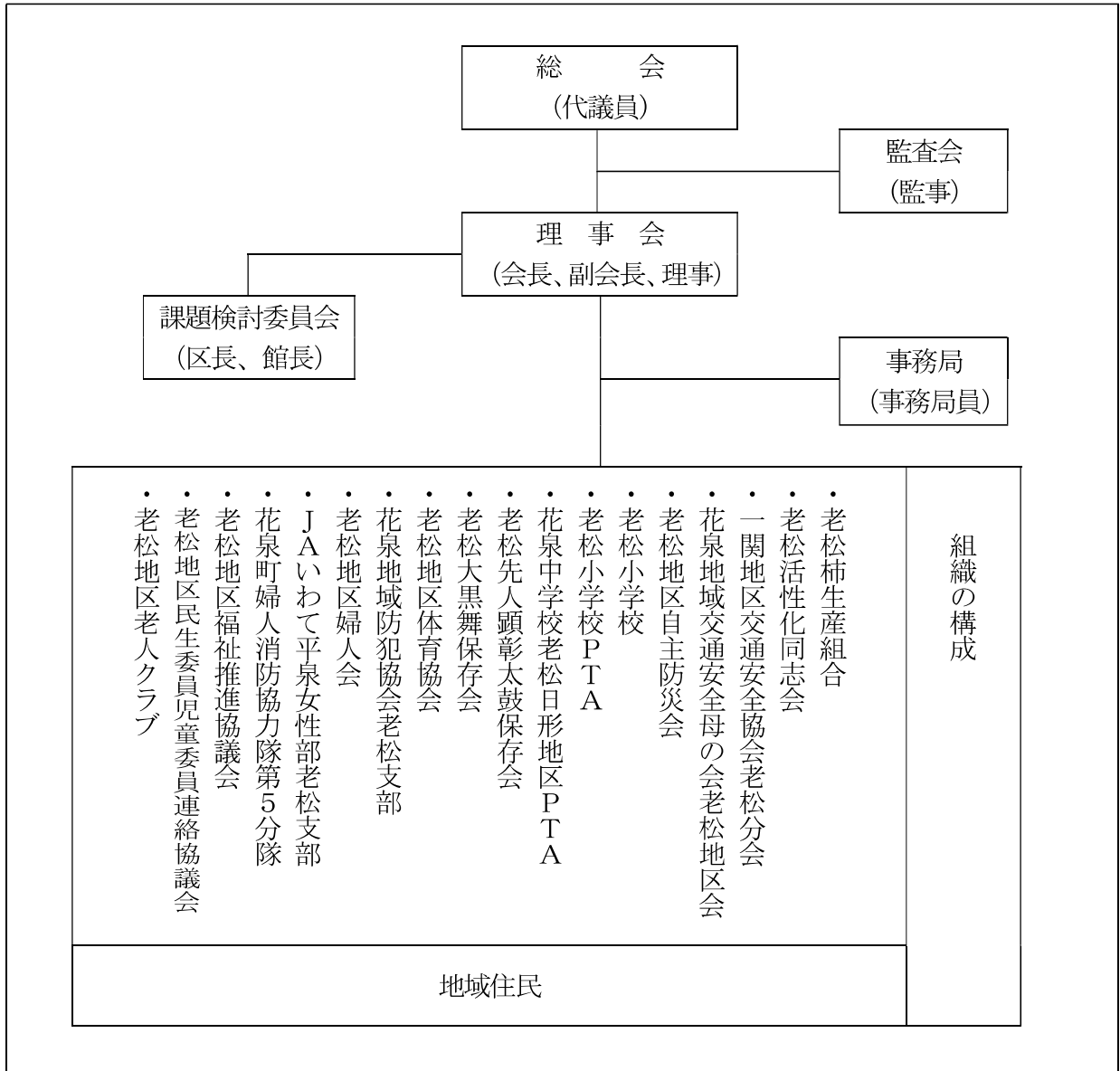
6月 集落課題懇談会を開催

6月 乳幼児を持つ母親事業「おいまつベビママクラス」を開催

12月 老松地区提案書を提出

令和4年5月 第2次老松地区地域づくり計画を策定

(2) 組織図



令和3年度の総会の様子



理事会で地区提案を協議

(3) 地域づくり事業の推進

平成27年度から地域づくり計画の推進にあたり、地域環境部、地域振興部、地域安全部、地域福祉部、体育振興部、教育文化部の6つの専門部で事業を展開しました。

しかし専門部を構成する集落公民館長の役割や構成する団体との事業の調整が上手くいかないところもあり、令和2年度の臨時総会で専門部の廃止と理事の削減を図り、分野ごとの事業は担当理事制にしたことで機動的に運営が行われています。

また、地域住民の声を吸い上げる機関として、集落公民館長と行政区長とで組織する「課題検討委員会」を設置しました。

同年8月には課題検討委員会委員が中心となり、各集落を訪問し集落課題懇談会を開催し、集落地域づくり計画の点検と新たな課題の掘り起しを行いました。

課題検討委員会ではそれを基に地域づくり計画の見直し作業を行い、理事会、総会を経て「第2次老松地区地域づくり計画」を策定いたしました。

(4) 老松市民センターの指定管理

平成31年4月から老松市民センターの指定管理を当協議会が受託して、施設の管理と市社会教育行政の方針に沿い少年事業「学びの土曜塾」、成人事業、女性事業「女性生活学級」、高齢者事業「ひょうたん学級」、家庭教育学級の開催のほか、各種スポーツ大会や芸術文化事業を行っています。

(5) そのほかの活動

① 老松地区子ども教室の開催

市から放課後子ども教室推進事業を受託して、放課後の子どもたちが安全に活動できる場所を確保するために、地域の人たちから支援を受けながら、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を開催しています。

② 避難場所等の運営

災害時等における避難場所等の運営の協力に関する市との協定により、市内に地震、風水害、その他の災害等が発生または発生するおそれがある場合に、市地域防災計画に基づく指定避難所及び指定緊急避難所を開設し運営することにしています。



子ども教室 シャボン玉飛ばし



子ども教室 水生生物調査

第2章 地域づくり計画

1 地域づくりの方針

(1) 目 的

豊かなみどりと 心やさしい人を 未来につなぐ

(2) 分野ごとの方針

- ① 住民参加による快適な生活環境をつくる
- ② 地域の特性を生かした産業の振興を推進する
- ③ 地域一丸となって安全安心な地域をつくる
- ④ 健康で生きがいのある生活を支え合う
- ⑤ スポーツをととして地域住民の交流を図る
- ⑥ 地域の歴史や文化を継承しつつ、新たな文化の振興を図る

(3) スローガン

おもしろぐ おがすぐ さざほざど



役員研修（奥州市白山地区振興会）



女性生活学級移動教室（釜石市）



おいまつベビママクラス ヨガ



令和4年元旦歩け歩け大会

2 推進体制と全体事業の推進

地域づくりの基礎となるのは、集落です。

地区の課題を調査するため、集落づくりのリーダーである集落公民館長と、行政と地域住民とのパイプ役である行政区長とで課題検討委員会を組織しました。

その課題検討委員会委員を中心に集落課題懇談会を開催し、集落地域づくり計画の点検と新たな課題を掘り起しながら、集落公民館活動（地域づくり）を推し進めていかなければなりません。

集落から出された課題は、当協議会が対応するものや構成団体で対応するもの、あるいは上部団体に対応してもらうよう働きかけていきます。

さらに、行政で取り組むべき課題は、市などに対して「老松地区提案書」として要望していきます。

また、全世帯が加入している構成団体（縦割り組織）と当協議会の活動分野を、関わり方やその構成団体の会費の徴収方法について検討していく必要があります。



集落課題懇談会で地域課題を集約



老松地区提案書を花泉支所長に提出

○地域で実施する事業 ●市等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
執行体制	・分野ごとの課題は担当理事会で協議して事業に取り組む。 ・組織の強化や職員の資質の向上を図るため役員等の研修を実施したり参加したりする。 ・事業の案内や報告、地域の出来事などは情報媒体をとってお知らせする。	○総会 ○理事会 ・分野ごと担当理事会議 ・役員等研修 ○監査会 ○情報提供 ・「広報おいまつ」の発行 ・安心でんしょぼとの配信 ・フェイスブックの配信 ●花泉地域協働体連絡協議会との連携

地域課題の把握と地域要望	・地域づくり計画書作成後は、計画の点検と新たな地域課題を把握するため集落課題懇談会を行う。 ・課題や要望については、担当理事、理事会や団体組織と協議して、地域課題の解決に向けた活動や要望、提案を行っていく。	○課題検討委員会議の開催 ○集落訪問 ・集落課題懇談会の開催 ○分野ごとの課題と対策 ●市等への提案・要望
地域行事の開催	・多様化するニーズ、地域連帯の希薄化、少子高齢化の進行とともに地域行事への参加者が減少している。 ・さらに新型コロナの影響で集まりそのものも自粛ムードであることから、地域住民の交流の機会を減らさないよう事業展開していく。 ・また、将来を担う子どもたちや若者たちが地域と接する機会を設ける。	○老松（夏）まつりの開催 ○日本一のもちつき大会への参加 ○元旦歩け歩け大会の開催 ○老松地区新年交賀会の開催 ○子どもたちや若者たちが地域行事へ参加されるよう奨励 ●市等との共催・後援による事業の開催
市民センターの指定管理業務	・市から老松市民センターの指定管理を受託して、地域活動の拠点となるよう施設の貸出や管理・運営に努めている。 ・令和2年からは新型コロナウイルスの影響で例年どおりの事業の開催になってはいないが、引き続き感染対策を講じながら行っていく。 ・課題が多様化している今日、地域課題をとらえ地域づくりに結びつく事業を開催する。	○施設の利用許可等 ○社会教育事業などの開催 ○施設、備品等の維持管理 ●5万円を超える施設の修繕及び改修
放課後子ども教室	・子どもたちに放課後の居場所づくりを提供している放課後子ども教室事業は、登校日毎日開設していく。 ・花泉地域の小学校は令和5年4月の統合に伴い老松小学校は閉校となることから、子ども教室の存続について今後、地域の子どもたちと関わる機会が少なくなることが予想される。	○老松地区子ども教室の開催 ・スタッフ会議の開催 ・小学校閉校後の放課後子ども教室の検討
避難所運営	・災害が発生もしくは発生する恐れがある場合は避難所を開設する。 ・中、長期の開設が必要な場合は、老松地区自主防災会と連携して対応する。	○避難所の開設 ・老松地区自主防災会との連携 ・女性生活学級運営委員への協力要請

3 分野ごとの計画

(1) 生活環境分野

「住民参加による快適な生活環境をつくる」

当地区は、花泉町時代から行われている「道路河川愛護作業」のほか、新一関市になってからは公衆衛生組合が中心になり春、秋の道路清掃が行われています。このほか集落を越えて多面的機能支払交付金や中山間地域等支払制度を活用しての農道の維持や水路の泥上げなどが共同で行われています。

地区内の市道などは、舗装の傷みが随所にありなかなか補修が進みません。同様に未舗装の市道も多く車社会に適さない道路があり、早急な市道整備が望まれます。

今後、若者の人口減少や高齢化が進む中で、地域での環境整備活動をどのように進めていくべきか課題となっています。

また道路清掃ほか集落花壇の整備など、地域の環境整備に努めてきていますが、ゴミの不法投棄やポイ捨て等がなくなりません。ゴミ集積所の利用マナーが守られていないところが多くあり、その対策も必要です。

子どもたちは「老松は自然が多い。みどりがきれい」と地域の風景を自慢しています。また「ゴミが落ちている。汚い老松は嫌だ」と、地域が汚れることにこころを痛めている意見もありました。子どもたちが遠くへ行ってもいつでも戻れるよう、老松の豊かな自然と穏やかな環境を守っていききたいものです。



藤田長堤のハスの花



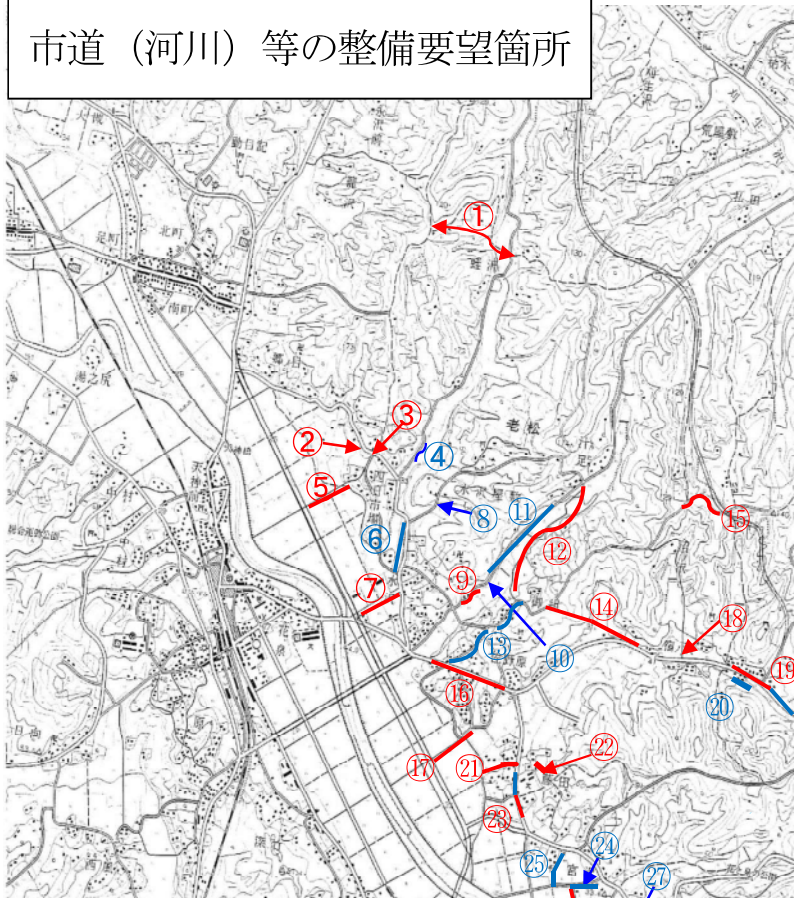
水田の中央を通る花泉バイパス

□地域で実施する事業 ■市等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
環境整備	・花いっぱい運動コンクールへの参加が少ない。 ・高齢者世帯の増加や作業機械を持っている人も少なくなり、集落の共同作業に	□花いっぱい運動の支援（助成） □生活環境保全の支援（助成） ■県による金流川堤防の草刈り事業の

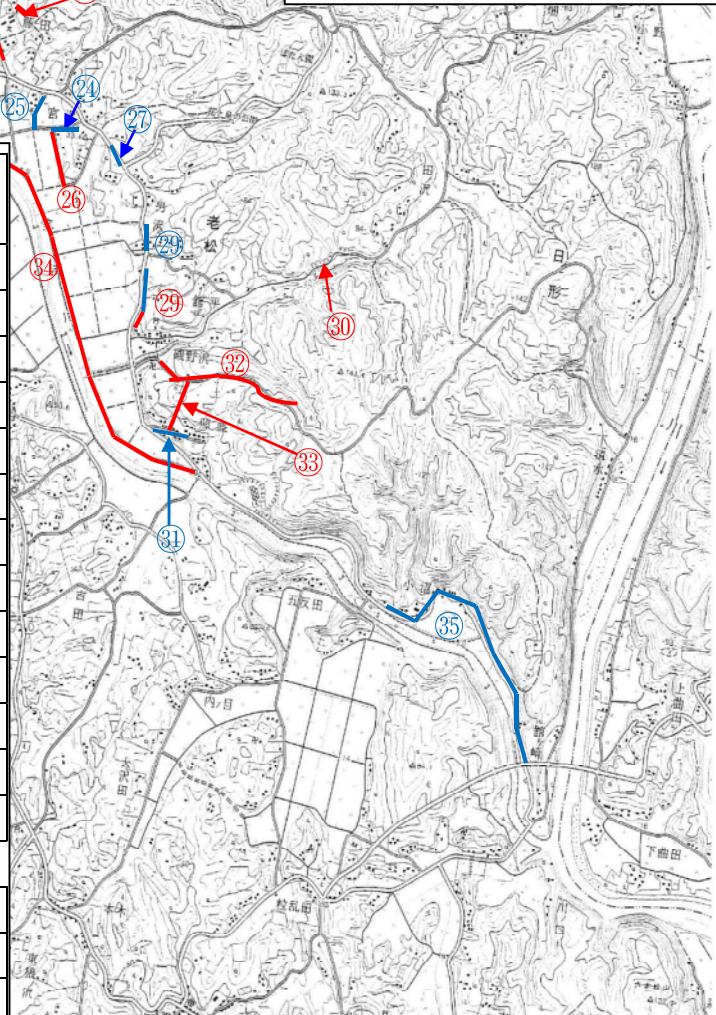
	支障が出てきている。 ・水路の泥上げや道路の土砂の撤去は放射性物質汚染のため自粛している。	継続と拡充を要望 ■放射能堆積土砂の撤去の要望
環境衛生	・ごみの分別が徹底されていなかったり、地域外の人が集積所に置いていたりして困っている。 ・ごみ拾い等の清掃活動を実施して環境衛生に努めているが、不法投棄やポイ捨てがあり、地域の環境・景観が損なわれている。 ・猫などの小動物も捨てられる。	□ごみ分別、環境に関する勉強会の開催 □注意喚起のための看板の設置やポスターの掲示 □子どもたちをゴミ拾いに参加させる □地区内の公衆衛生組合との連携 □監視カメラの設置や貸出
道路整備	・地区内には未改良や未舗装の市道が多く安全、快適な通行に支障をきたしている。 ・国道 342 号花泉バイパスの開通により通行経路が変化しており、通行に対応した市道の整備が必要となっている。	□道路の点検調査の実施 ■市へ道路整備の要望(別紙箇所)
河川 水害対策	・金流川の支流河川の堆積物の除去 ・小沼集落は北上川からの背水（バックウオーター）より水田の灌水や家屋の浸水被害がたびたび起こる。	■除去の要望 ■小沼集落の北上川上流狭隘地区治水対策の要望 □集団移転が完了し、治水事業に着手されるよう協力する。
空き家	・空き家の管理が行き届いていないため、木の枝が伸びたり、獣の巣になっていたりと付近に迷惑をかけている。	□集落での支障木の伐採 ■危険な家屋は撤去を要望
公共交通	・岩手県交通のバス利用者が減少したことにより、バス停が廃止された。 ・一関市営バスの便数が減るなどして交通弱者はますます交通手段が狭められている。	□デマンド交通の検討

市道（河川）等の整備要望箇所



図面 番号	路線（河川）名	集落名	内 容
①	上蛭沢一号線	蛭沢	拡幅整備
②	舘ヶ崎線一号線	四日市場	路面補修
③	舘ヶ崎線一号線	四日市場	側溝整備
④	蛭沢線	四日市場	土側溝修理
⑤	四日市場沖線	四日市場	舗装
⑥	（蛭沢川）	水沢	土砂の除去
⑦	水沢中央線	水沢	歩道補修
⑧	老松峯線	水沢	冠水対策
⑨	汁足線	汁足	道路改修
⑩	（水沢川）	汁足	崩落防止
⑪	汁足線	汁足	U字溝設置
⑫	御組汁足線	汁足	拡幅、側溝整備
⑬	御組払田線	御組・佐野原	U字溝設置
⑭	日向前御組線	御組	改良
⑮	和興団地線	御組	改良
⑯	花泉藤沢線	佐野原	歩道設置
⑰	佐野下二号線	佐野原	舗装

図面 番号	路線（河川）名	集落名	内 容
⑱	老松沼ノ沢一号線	宿	勾配の緩和
⑲	花泉藤沢線	宿	路面補修、側溝整備
⑳	（藤田川）	宿	崩壊防止
㉑	藤田佐野下線	藤田	拡幅、舗装
㉒	老松小学校線	藤田	舗装
㉓	舘ヶ崎線	藤田	路面補修、側溝改修
㉔	雄明橋線	宮沢	土側溝整備
㉕	老松宮沢三号線	宮沢	土側溝整備
㉖	老松宮沢五号線	宮沢	法面
㉗	花公園からの末端	上	排水溝修理
㉘	舘ヶ崎線	上	U字溝設置
㉙	舘ヶ崎線	上	冠水対策
㉚	舘ヶ崎線	照盛	道路補修
㉛	田野沢線	舘平	土砂崩落防止
㉜	舘ヶ崎線	舘平	補修（歩道、縁石）
㉝	照盛線	照盛	水路整備
㉞	林道下清水線	照盛	舗装整備、水路整備
㉟	公民館から林道	照盛	道路の新設
㊱	金流川左岸三号線	照盛	舗装整備
㊲	舘ヶ崎線	小沼	冠水対策



(2) 産業振興分野

「地域の特性を生かした産業の振興を推進する」

当地区は、稲作を中心とした農村地帯ですが、米価の下落や不安定な園芸作物価格により農業経営を圧迫しています。

親子アンケートによると、将来地元に住みたいと希望している子どもたちは解答者の9%（全学年平均）にすぎません。さらにその中から農業を継ぐとなると、ごくわずかと思われます。

農業者の高齢化と農業後継者が不足する中で、地域の農地を継承し地域農業の振興を図っていくことが課題となっております。

また、おいまつ柿の生産数量の増大と品質の安定を目指すとともにブランドを確立させ、老松地区の農産物の販売に強みをつけ、有利販売に結びつけることができるよう取り組みが必要です。

さらに、家庭菜園や小規模で農に携わる方を対象に、栽培技術の向上や農産物の加工技術を習得させ、自家消費から贈答品として、さらに販売までに繋がる取り組みも必用です。



麴づくり教室



おいまつ柿の箱詰め作業

□地域で実施する事業 ■市等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
農業土木	- 作業効率が悪く生産性の低い農地は耕作放棄になりやすい。 - また、農道や用排水路の管理は受益者だけでは維持できないことから、地域ぐるみの取り組みが必要である。	☐ 中山間地域等直接支払制度の活用 ☐ 多面的機能支払交付金の活用
大区画圃場	金流川沿いの水田は大区画圃場に整備されましたが、近年は高齢化や	☐ 農業中間管理事業の活用

	担い手不足が深刻化しており、小規模農家では機械の更新時期を機に担い手農家への委託を考えているが、受託する側も高齢で従事できる面積に限界がきている。 老松地区全体での受委託の調整が必要であり、事業として成り立つ新たな形態を模索して行かなければならない。	■農事組合法人等の設立の検討（市・改良区・J A）
産業振興対策	・農家の高齢化等により遊休農地や耕作放棄地などが増加している。 ・地域の特色を生かした園芸作物の栽培や加工技術を習得し、自家消費から販売につなげ所得の向上に結び付ける。	□休耕田や耕作放棄地の有効活用の検討 □地域の特産品（ブランド品）の開発 ・おいまつ柿の支援 ・農産物の加工品の研究 ・ひょうたん等の工芸品の研究 □農産物販売所等の検討 ・おいまつふるさと便の検討 ■J A等による野菜作りの指導
野生動物の被害対策	・野生動物が増加し、家庭菜園や露地野菜の農作物の被害が増えており、収量の減収や収穫ができない状況で営農意欲が低下している。	□農地周辺の草刈作業の奨励 □有害鳥獣捕獲応援隊の拡充 □地域ぐるみの捕獲体制づくり ■有害鳥獣駆除の要請
後継者及び雇用対策	・就労の場が少ないことや都会への憧れから若者は地元に残る者が少ない。	■企業誘致の要望 （老松地区内への工業団地の斡旋）

(3) 防災安全分野

「地域一丸となって安全・安心な地域をつくる」

当地区は、地理的に自然災害の影響が少ない地域ですが、地震や異常気象による自然災害はどこにでも起こり得ます。

2011. 3. 11 東日本大震災の教訓を忘れないためにも、防災訓練を定期的に行い、地域防災に備えなければなりません。

今後、高齢者世帯の増加が予測されることから、近所同士の助け合いがますます必要になります。

また、交通安全については、交通安全協会や交通安全母の会が組織的に街頭指導を実施していますが、交通マナーを守らないドライバーもあり登下校の児童や交通弱者に不安な思いをさせています。交通安全施設の整備や県道花泉藤沢線の歩道設置が課題になっています。

防犯対策については、防犯協会によるパトロールや見守り隊による街頭指導が実施されていますが、夜間の安全対策として防犯灯の設置が必要です。



防災学習会の様子



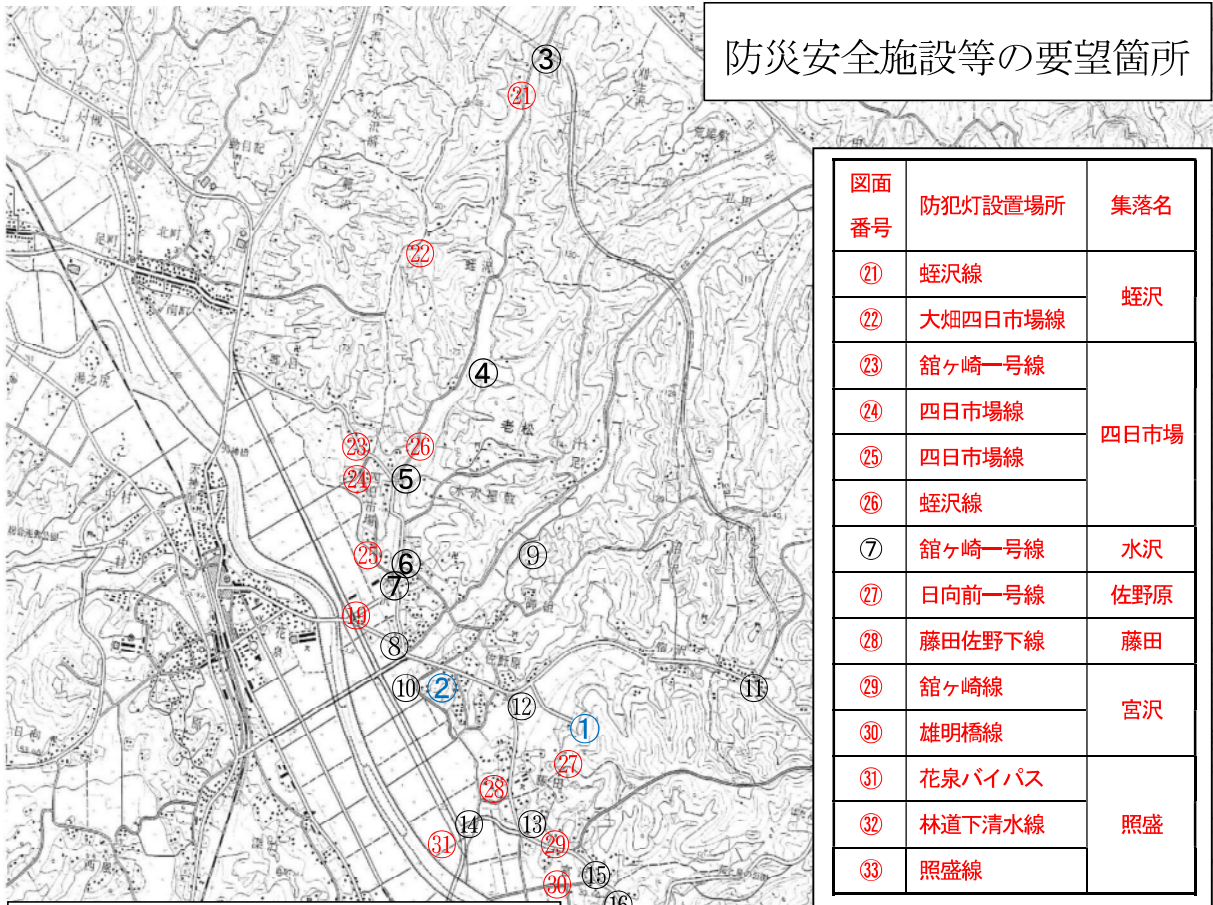
朝の街頭指導

□地域で実施する事業 ■市等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
消防防災	・地区内に若者が少ないことや就業構造の変化に伴い消防団員の確保が困難になっている。 ・消防防災施設については十分な整備がなされていないことから順次整備の要望をおこなう。	□消防団による積極的な勧誘 ■団員獲得のための環境整備を市に要望 ■消火施設の設置要望 ■防災行政無線設備の整備要望 □用地の協力 □火災予防全戸訪問(消防団・婦消)

	・老松地区自主防災会には地域全戸が加入しており、役員が中心に活動体制を整備した。 中、長期的な避難所運営にあっては市民センターと連携し開設する。	☐防災設備マップの作成（自主防） ☐防災備品の定期点検の実施(自主防) ☐防災研修の開催 ☐組織との連携と支援
交通安全	・当地区に国道 342 号花泉バイパスが整備されてからは、交通量の多いことや速度の速い車両が多い。 ・地区の市道では、見通しの悪いカーブでも減速しない車両や歩行者の横断を阻害するドライバーもあることから、交通安全団体組織の活動を支援していく。	☐交通安全運動の取り組み(安協)(母の会) ☐交通事故発生の恐れのある個所の調査 ☐カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設の清掃 ☐子どもたちの活動への参加の奨励 ☐組織との連携と支援 ■交通安全施設の改善要望（別紙箇所）
防犯対策	・小学生の安全な登下校のため見守り隊による防犯対策が長年行われている。 ・夜間の暗い箇所では生徒の下校や交通弱者の不安を解消するためにも防犯灯の設置が必要である。 ・高齢者など狙った特殊詐欺が発生	☐地域安全運動(パトロール)の実施(防犯) ☐見守り隊による防犯対策 ☐特殊詐欺対策 ☐組織との連携と支援 ■防犯灯の設置要望(別紙箇所)

防災安全施設等の要望箇所



図面 番号	要望施設	場 所	集落名
①	防火水槽	日向前三団地	佐野原
②	防火水槽	佐野下団地	
③	カーブミラー	蛭沢線	蛭沢
④	カーブミラー	蛭沢線	
⑤	一時停止	蛭沢線	四日市場
⑥	カーブミラー	水沢屋敷御組線	水沢
⑦	横断歩道	舘ヶ崎一号線	
⑧	一時停止	舘ヶ崎一号線	
⑨	カーブミラー	御組汁足線沿	汁足
⑩	カーブミラー	佐野下一号線沿	佐野原
⑪	路面標示	県道花泉藤沢線	宿
⑫	道路標識	舘ヶ崎	藤田
⑬	ガードレール	舘ヶ崎線	
⑭	一時停止	花と泉の公園線	安全協会
⑮	カーブミラー	舘ヶ崎線	宮沢
⑯	カーブミラー	舘ヶ崎線	
⑰	カーブミラー	田野沢線	舘平
⑱	道路標識	照盛線	照盛
⑲	信号機	花泉バイパス	安全協会

(4) 地域福祉分野

「健康で生きがいのある生活を支え合う」

当地区においても一人暮らし老人や高齢者世帯が増加傾向にあり、超高齢化社会を迎えます。当面の課題は、介護が必要になるまでの期間をいかに長くするか、心身ともに健康に生活できる期間を延ばすための手立てを地域でも取り組まなければなりません。

また、高齢者が安心して暮らすことができるよう、生活環境を整える体制づくりが必要です。



ひょうたん学級 健康教室



おらほのしきたり 稗穂粟穂づくり

□地域で実施する事業 ■市等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
高齢者等世帯	・後継者がいないことから一人暮らし老人や高齢者世帯が増えている。 - また身体障がい者や高齢者の介護をするため家を空けられず、日々の生活に不安をいただいている世帯もある。	☐ いきいきサロン合同交流会(福祉協) ☐ ふれあい給食(福祉協) ☐ 雪掻きボランティアの検討 ☐ 高齢者世帯の見守り体制の検討 ☐ 民生児童委員による訪問活動
交流事業	・高齢者が孤立しないよう老人クラブへの加入やサロンへの参加を促す。 - また高齢者の知識や経験を活かし、地域事業に参加してもらう機会を設ける。	☐ さざほざサロンの支援(福祉協) ☐ 敬老会の開催(福祉協) ☐ 体育・交流事業による健康増進(老ク) ☐ おらほの名人の活用 ☐ 組織との連携と支援
健康づくり	・地域住民が元気で健康な生活を送れるよう健康づくりを支援することが必要となっている。 ・新型コロナウイルス感染症による健康不安が長引いている。	☐ 健康づくり教室の開催(老松CC) ☐ 食生活改善推進員の活用 ☐ 新型コロナウイルスなど感染症対策の励行

(5) 体育振興分野

「スポーツをととして地域住民の交流を図る」

地区民大運動会をはじめ各種スポーツ大会を開催し、スポーツの振興と地区民の親睦に努めています。

しかし、少子高齢化により、集落の役員は体育事業への参加者の招集に苦勞しており、チーム編成や開催方法の検討が必要です。

また、花泉町内で開催している各種スポーツ大会が継続できるよう、地域として協力していかねばなりません。



グラウンドゴルフ大会



夏季球技大会 汁足御組チーム優勝

□地域で実施する事業 ■市等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
集落事業	・集落スポーツ行事の支援。	□スポーツ用具の貸出
地区事業	・スポーツの振興と地区民の親睦交流に努めている。 ・スポーツの日常化、交流を推進するためニュースポーツの紹介と用具の整備を図る。	□各種スポーツ大会の開催 ・地区民運動会(共催) ・グラウンドゴルフ大会(共催) ・夏、冬季球技大会(共催) □ニュースポーツの普及
	・若者世代の減少や高齢者世帯の増加により参加対象者が偏り、チームが編成できないところがある。	□若者たちの参加の奨励 □チーム編成の検討
花泉町内行事	・体育スポーツの振興と地区民や他団体との交流や健康増進のため、スポーツの場を設け各種大会に選手を派遣しており、市民体育大会には、全種目の出場を目標に取り組み成果を上げている。 ・市体育協会(花泉支部)事業の運営の協力。	□市民大会の参加と運営 ・花泉マラソン「瀬古杯」の運営支援 ・町内一周駅伝への参加と運営支援 ・市民体育大会への参加

(6) 教育文化分野

「地域の歴史や文化を継承しつつ、新たな文化の振興を図る」

先人たちが築き継承してきた史跡・遺跡などやお祭り・行事は、子や孫に伝えていかなければ時間とともに風化してしまいます。地域の文化は地域で守り、高齢者の知恵や口伝を後世に継承していかなければなりません。また、新しい文化にふれあうことも大切です。



□地域で実施する事業 ■市等に要望する事業

区分	地域の現状と課題	活動内容・事業
文化財	・当地区には岩手県指定文化財や市指定文化財があります。そのほか激動の歴史に関わった館、神社、仏閣などの史跡をお宝マップにして紹介している。 ・集落でお宝の周辺環境を保全するための必要な資材や機材等の費用を負担して、保存活動の促進を図る。	☐ お宝マップの活用 ・お宝めぐり ☐ お宝環境保全の支援（助成）
先人顕彰	・老松地区では和算家千葉胤秀、医師千葉理安、義民の千葉惣左エ門を顕彰している。 ・そのほか、地域で活躍した先人を調査し紹介していく。	☐ 千葉胤秀顕彰花泉珠算競技大会
しきたり	・生活の中に受け継がれてきた年中行事は、生活様式の変化などにより、次第に行われなくなり意味も忘れさられてきている。	☐ おらほのしきたり事業 ・粟穂稗穂づくり ・端午の節句 ・めい玉ならし
伝承事業の支援	・老松地区で始めた芸能を地域の伝承文化として後継者を育成しながら継承していかなければなりません。	☐ 大黒舞保存会の支援 ☐ 顕彰太鼓保存会の支援
文化事業	・課題のジャンルを問わず、地域住民が望む文化、地域住民に知らせたい文化を広く紹介していく。	☐ 文化事業 ・公演 ・講演

第3章 集落ごとの地域づくり計画

1 蛭沢集落

(1) 概 要

名 称	蛭沢集落公民館
集 会 所	蛭沢公民館（40m ² ）昭和44年建設
人口規模	令和3年4月現在：人口56人、世帯19戸、高齢化率41%
概 況	当集落は、老松地区の北に位置し、金沢地区に入り組んだ地形をしています。山間地のため畑地が少なく、沢つたいに未整備の水田が多く農作業の効率が良くないところです。 集落の東の山中に「蛭子社」を祀っていますが、蛭沢の地名に由来するものと伝えられております。 先人には、農民を苦しみから救おうと寛政の百姓一揆の総訴人代表、峠沢（宿）の惣左エ門とともに命をかけて訴えた藤十郎がいました。 惣左エ門は首謀者として死罪になりましたが、藤十郎は女川町の江之島へ流罪になりました。 平成5年に集落の中央をとおり蛭沢線が舗装道路に整備されてからは、交通量が増えスピードを出す車両が多くなりました。平成20年に広域農道が開通しからは、金沢内沢や日形方面へのアクセスが容易になりました。 当集落には光回線が通っておらず、さらに携帯電話の電波が弱いところが広範にあります。 70代前半の人たちが中心になって地域の環境整備を行っていますが、今後高齢化が進み活動ができなくなったら、地域が荒廃してしまうのではないかと心配しています。 今後、集落の人口は増える見込みはありませんが、この状態を維持していければと思っております。 集落行事への参加が少なくなっている今日、このような時代だからこそ隣近所に声を掛け合って協力していかなければならないと思います。
目 標	

(2) 地域計画

区 分	○現状 ●課題	○活動 ●要望
生 活 環 境	環境	○花いっぱい運動の推進
	道路	○沿道花壇の整備
	河川	○道路河川愛護作業
	愛護	○春・秋の道路一斉掃除
衛生	●地域外からごみ集積場に置かれる	○ゴミ問題対策巡視員の体制強化 ●監視カメラの設置

	土木	●上蛭沢一号線の拡幅整備	○用地の協力 ●市へ要望
産業振興	農業		
	土木	●耕作放棄の防止、用水路の管理	○中山間地域等支払制度の活用 (蛭沢地区地域資源保全会)
地域安全	交通	○道路整備による交通量の増加	○街頭啓発 ○啓発看板の設置
		●スピード超過の車両の増加	●速度規制の要望 ○街頭啓発、看板の設置
		●カーブミラーの設置2か所	●交通安全対策協議会へ要望
	防犯	●防犯灯の設置2か所	●防犯協会へ要望
		○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
福祉	高齢化	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催
体育	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加
教育文化	文化財	蛭子社、山の神 堅牢地神社(汁足共同)	○蛭子社の整備 ○堅牢地神社の掃除
	先人	義民藤十郎の顕彰	
その他	役員	●役員なり手がない	○役員の輪番制
	行事	●事業に人が集まらない	
	情報通信	●光回線が来ていない。 ●携帯電話が繋がらないところがある	●市へ要望(通信業者)



令和3年度集落課題懇談会の様子



令和2年度集落課題懇談会の様子

2 四日市場集落

(1) 概 要

名 称	四日市場集落公民館
集 会 所	四日市場会館（130㎡）昭和12年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口 人、世帯 戸、高齢化率 %
概 況	集落の北側の一番高いところに金剛山古峯神社をお祀りした鎮守の森があります。春は豊作を願ってのお花見会。秋には収穫を感謝して神事を行い、毎年賑やかに祭りが奉納されております。 四日市場の地名の由来は、四のつく日に市が開かれたことからきていると推測できます。 昭和54年に集落の中央を通る舘ヶ崎一号線は、幅3m2車線に歩道も設置され、小学生の通学をはじめ自転車も安心して通れます。 一方、車道は交通量が多いため路面が傷みやすく、大型車が通るとその衝撃で住宅まで揺れたりします。 平成15年に金流川沖の水田は大規模区画整理に合わせ、国道342号花泉バイパスが整備され風景が一変しました。水田の真ん中を車が四六時中走っています。パトカーでの取り締まりや救急車のサイレンの音が都会並みに聞こえるようになりました。 集落では新年会（年祝い）をはじめ、春、秋と金剛山の祭り、夏には盆会、年末にはしめ縄づくりなど、集落民が交流する機会には事欠きません。 当集落においても高齢化が進み、世帯数も減少してきている。また未婚の後継者が多く、このままでは少子化に伴い人口減少が加速すると思われます。 今は集落内での環境整備等には皆さん参加していますが、いずれは人手不足になって来るでしょう。 若い人たちが定住して、子どもが増え、活気のある集落になるよう手立てを考えなければと思います。 いつまでも、子どもから高齢者まで全員が集まって盛り上がり、楽しく過ごせるような集落になればと思います。
目 標	

(2) 地域計画

区 分	○現状 ●課題	○活動 ●要望
生 活 環 境	環境 ○花いっぱい運動の推進	○沿道花壇の整備
	道路 ○地域の環境整備	○道路河川愛護作業

境	河川 愛護		○春・秋の道路一斉掃除
	放射 能汚 染	●道路や水路の堆積物の除去	●市へ要望
	支障 木	●大畑四日市場線、道路わきの竹林が雪 や大雨で倒れる	●所有者による伐採 ○集落で伐採
	ごみ 集積 場	●ごみの分別ができていない	○公衆衛生組合の取り組み ○ごみ問題対策巡視員による活動
	不法 投棄	○ごみのポイ捨て	○啓発看板の設置
	土木	●館ヶ崎一号線、路面に亀裂や段差があ るため大型車が通行する度衝撃がある	●市へ要望
		●四日市場沖線を花泉バイパスまで舗装 整備	●市へ要望
		●花泉地域4分団1部の1の屯所脇の側 溝が深くて危険	●市へ要望
		●蛭沢線の土側溝修理	●市へ要望 ○泥上げ
産 業 振 興	農業	○耕作放棄の防止、農道・用水路の管理	○多面的機能支払制度の活用 (四日市場基礎環境保全活動組織)
	土木		
地 域 安 全	消防	●防災行政無線屋外広報マストの放送が 干渉を起こしているので聞きにくい	●市消防本部へ要望 ○防災メールやFMラジオでの情報受信
	交通	●蛭沢線から館ヶ崎線一号線へのY字 路、停止線と標識の位置が離れているの 近づけてほしい	●市交通安全対策協議会へ要望
	防犯	●防犯灯の設置4か所	●地域防犯協会へ要望
		○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
福 祉	高齢 化	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催
体 育	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加
教 育 文 化	文化 財	金剛山古峯神社、四日市場遺跡、経塚、 中村城跡	○金剛山古峯神社環境整備 ○金剛山古峯神社の春・秋まつり
	先人		

そ の 他	●地域をアピールする看板の設置がほしい	
-------------	---------------------	--



お花見会



集落花壇づくり



集落花壇づくり



金剛山さま春の大祭



しめ縄づくり



基礎環境保全活動

3 水沢集落

(1) 概 要

名 称	水沢集落公民館
集 会 所	水沢集落公民館 (60m ²) 昭和26年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口217人、世帯61戸、高齢化率35%
概 況	水沢集落は北から峯（4班）、台（3班）、水沢屋敷（1, 2班）と、のちに字水沢、水沢下が加わり3つの区域で成り立っています。 これらの区域がまとまり現在の水沢集落と呼ばれ、自治会組織としての水沢集落公民館を成して今に至っています。 水沢の地名については不明であるが、沢田が奥地まで入り込んだ地形をしています。 千葉理安旧宅（観音堂屋敷）には、歴史に興味をもつ人達が度々訪れるので旧宅周辺の環境整備は、地主さんと共に公民館活動の一環として位置付け管理に努めています。 理安旧宅にあった十一面観音像は、寛文8年（1668年）に現在地の大祥寺の境内に移転され、昭和30年代までは定例の大祭があり、出店が連なり芝居小屋も建ち、子育て観音様と言う御利益もあるとの事から、婦人会（？）の人達は「名物子育てまんじゅう」を作り販売するほどの賑わいでした。 昭和20から30年代にかけての集落の拠点は、大祥寺でありました。寺集会所では卓球大会、幻灯写真・映画の観賞など楽しませてもらいました。 また、テレビ導入第1号が大祥寺だったので、こぞって大相撲、プロレスに心をはずませ観賞したものです。 寺の建物・境内にもかかわらず、老若男女の集落の人達に憩いの場を提供してくれた先代住職の良順和尚さんをはじめとする有志の方々には時を越えた今、あらためて感謝しております。 このような古き良き時代も過去の思い出となり、老松橋の架け替えや主要道路水沢中央線が拡幅改良整備され、公共施設が建ち始めると食堂や商店が建ち、民家も次々と建築され、公民館から見えた昔からの田園風景は、ほとんどなくなりつつあります。 花泉バイパスの開通と共に交通の流れに変化が生じ、水沢集落の生活道路の感覚であった舘ヶ崎一号線は、朝夕の通勤車両の近道として利用され、集落住民は自衛の覚悟を強いられています。 児童・生徒の安全な通行を考えると、横断路などの課題もあり、関係機関への働きかけをしつつ、自分達の努力・工夫でできることは、微力ではあるがアクションをおこし始めました。
目 標	水沢居住者の親睦と融和を図るとともに教育及び文化、生活、体育等に関する事業を行い、教養豊かにして健康あふれる集落と住民の生活を築きもって地域の発展に寄与することを目的とする。【2012年4月制定】

(2) 地域計画

区 分		○現状 ●課題	○活動 ●要望
生活環境	環境	○花いっぱい運動の推進	○沿道花壇の整備
	道路	○地域の環境整備	○道路河川愛護作業
	河川		○春・秋の道路一斉掃除
	愛護	○高齢者が多くなり草刈機を持ち込む人が少なくなった	○集落で助け合う ●道路河川愛護会へ要望
	放射能汚染	●道路や水路の堆積物の除去	●市へ要望
	支障木	●樹木が電線や道路に垂れかかり、見通しが悪い	○集落で伐採除去 ●所有者による伐採
	除雪	●高齢になり草刈や雪かきなどが困難	○集落で助け合う仕組みを検討
	集積場	○ごみの分別ができていなく、イエローカードが貼られている	○公衆衛生組合の取り組み ○ごみ問題対策巡視員による活動
		○地域外の人がごみを出している	●監視カメラの設置
	不法投棄	○不法投棄	○啓発看板の設置
	土木	●花泉中央線、福祉センターから体育館前の歩道の凹凸が激しく、セニヤカーや自転車の走行、雪かきが大変	●市へ要望
		●蛭沢川に堆積した土砂に草が茂り、川幅が狭くなり氾濫の恐れがあるので、除去してほしい	●市へ要望
		○老松峯線、須藤食品の駐車場から阿部さん宅の間は大雨の時冠水する。	●市へ要望
	公共交通	●岩手県交通大祥寺前バス停が廃止になり不便なので、復活してほしい。	●市へ要望
産業振興	農業	○水利の確保	○水沢営農センター
	土木	○耕作放棄の防止、用水路の管理	○中山間地域等支払制度の活用 (汁足・水沢中山間)
		○汁足堤の管理	○汁足水利保全組合
	就業	●若者の流失防止	○働く場所の確保
地域安全	消防		
	交通	●老松峯線、スピードを出す車があり危険なので速度規制をしてほしい	●市交通安全対策協議会へ要望
		●水沢中央線から舘ヶ崎一号線を横断する、横断歩道の設置	●市交通安全対策協議会へ要望

		●館ヶ崎一号線から県道花泉藤沢線の合流地点に正規の一時停止の標識を設置	●市交通安全対策協議会へ要望
		●水沢線から館ヶ崎一号線の合流か所にカーブミラーを設置	●市交通安全対策協議会へ要望
	防犯	●小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
		●防犯灯の設置1か所	●防犯協会へ要望
福祉	高齢化	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催
		○老人世帯は人と交流する機会が少ない	
体育	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加
教育文化	文化財	木造十一面観音立像（札所）、観音堂屋敷、龍雲山大祥寺、御嶽山御嶽神明社、寺崎森	○木造十一面観音立像（県文化財） ○観音堂屋敷の入り口掃除 ○十一面観音観音堂の掃除
	先人	千葉理安、千葉良俊 月泉良印和尚	
その他	行事	●集落内の交流	○集落公民館祭りの開催
	集金	●各種団体の会費等の集金が、組織ごとに訪問されて大変	○一括集金を検討



令和3年度グラウンドゴルフ大会準優勝



道路愛護作業追加作業支障木の刈り払い



集落ふれあい花壇苗の植栽



令和3年度通常総会の様子

4 汁足集落

(1) 概 要

名 称	汁足集落公民館
集 会 所	汁足生活改善センター（65m ² ）昭和58年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口 29人、世帯 13戸、高齢化率 70%
概 況	汁足集落には、いたる所に湧き水があったので、「水が十分に足りた」ということから、地名の由来と伝えられています。 その一つに「汁足清水」があります。コーヒーやお茶などに使うと、とても美味しくいただけます。 昭和45年にNHK盛岡放送局花泉中継局が汁足山に完成しました。その後民放の各局も送信をはじめ、地上デジタル波になってからは町内の多くの受信アンテナは、ここ汁足に向いています。 平成8年に開通した林道汁足線を上がって行くと、金沢地区と日形地区の界に「堅牢地神社」があります。 堅牢地神は大地を堅固ならしめる神です。天明年間に飢饉が続き、寛政1年（1789年）一関藩主田村公から「作神様を一万石につき一社宛勧請すべし」の命により、藩内に3ヶ所、一関機織山、小梨清田そして当流地方では峠村汁足に堅牢地神を祀ったと云われます。 また、その近くの平地に山の神様を移し、周囲に桜の木を植え春にはお花見ができるようになりました。 集落の人たちは、行事等に積極的に参加して協力してくれるし、助け合いの精神が熱く、優しい人たちです。 高齢化社会の中、いつまでも地域で農業が営まれるよう集落営農を確立し、また、子どもたちの声が聞こえてにぎやかな集落になってほしいです。
目 標	豊かな住みよい地域づくりを推進する

(2) 地域計画

区 分	○現状 ●課題	○活動 ●要望
生活環境	環境	○花いっぱい運動の推進
	道路	○沿道花壇の整備
	河川	○道路河川愛護作業
	愛護	○春・秋の道路一斉掃除
	●高齢者世帯が増え草刈り作業が大変。	○汁足清水の保全
		●道路河川愛護会へ要望
		○集落で助け合う
支障	●植木などが伸び放題で、車の通行に支障があるので切ってほしい	●所有者による伐採

	不法 投棄	●林道汁足線に大型のゴミが投棄される	●監視カメラの設置要望 ○公衆衛生組合の取り組み ○ごみ問題対策巡視員による活動
	土木	●汁足線、S字カーブの解消および土側溝整備	●市へ要望
		●御組汁足線、拡幅および土側溝の改修整備	○用地の協力 ●市へ要望
産業 振興	農業	●農地によその邪魔な木、日陰	●所有者による伐採
	土木	○耕作放棄の防止、用水路の管理	○中山間地域等支払制度の活用 (水沢・汁足)
		○汁足堤の管理	○汁足水利保全組会
地域 安全	交通	●汁足清水付近のカーブにミラーを設置	●市交通安全対策協議会へ要望
	防犯	○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
福祉	高齢 化	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催
		○目の届かない独居世帯がある	○集落で見守る
体育	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加
教育 文化	文化 財	堅牢地神社（蛭沢共同）	○環境整備
	先人		
その他	行事	○集落内の交流	○夏まつり（バーベキュー、花火20/13戸）、新年会の開催
	役員	○集落役員のなり手が限られ、大変	
	施設	●集落公民館のトイレの水洗化	○自治会等活動総合補助金制度の活用



集落課題懇談会の様子



地元の人が手入れしている汁足清水

5 御組集落

(1) 概 要

名 称	御組集落公民館
集 会 所	御組公民館（50m ² ）昭和54年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口 42人、世帯10戸、高齢化率 %
概 況	「日形御蔵へ続く街道沿いに配置され、その区域は『御組』と呼ばれた」文政4年（1821年）に足軽が配置されたことから、それ以来、御組と言われたと伝えられています。 また、「黄海街道と寄合に通ずる要路にあたれた。この駐留の場所を御組という。小頭は小野寺勇吉なるもので、3人扶持を与えられる。この組は明治元年（1868年）一関が戊辰の役に出兵したときは、一関内の治安にもあたったと言われています。この組は、屋敷割をして共同生活を営み常に武術の修練に励んだ。今も弓道、馬場跡がみられる」と花泉町史にあります。 市道御組払田線の左右に区画された住宅地がその名残です。 月山神社の氏子は当集落と佐野原集落からなり、営農センターの構成からしても、佐野原集落との関わりが多い集落です。 戸数10戸と少なく、中核層と言われる40～60代が少ないなか役員を任せられ、会社勤めをしながらの活動は大変です。けれども、高齢者の皆さんには機動力となり、集落づくりを支えてもらっています。声を掛ければ皆さん動いてくれます。 今年は新型コロナの影響で、公民館行事を自粛しましたが、また、新年会や夏まつりなど集落全戸が参加できるようになってほしいです。
目 標	地域住民が支え合い 住み良い環境をつくる

(2) 地域計画

区 分	○現状 ●課題	○活動 ●要望
生 活 環 境	環境	○花いっぱい運動の推進
		○沿道花壇の整備
		○地域の環境整備
		○道路河川愛護作業 ○春・秋の道路一斉掃除
	土木	●御組払田線、佐野原から御組まで土側溝なのでU字溝を入れてほしい
		●市へ要望 ○側溝掃除
	●御組払田線、御組汁足線の合流地点まで拡幅工事をしてほしい。	○用地の協力 ●市へ要望
	●日向前御組線の改良してほしい。	○用地の協力 ●市へ要望

		●金華山（一里塚方面）へのU字溝に土砂がつまっている	○側溝掃除 ●市へ要望
		●和興団地線、テレビ塔から農免道路の改修	●市へ要望 ○用地の協力
産業振興	農業	○刈子目堤地内の水路改修	○水利組合で改修の仕方を検討
		○U字溝の設置。支障木伐採、草刈り	○多面的機能支払制度の活用（佐野原御組集落活動組織）
	土木	○耕作放棄の防止、用水路の管理	○中山間地域等支払制度の活用（汁足・御組）
地域安全	防犯	○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
	防災	○防災器具の設置	○自治会等活動総合補助金制度の活用 ○コミュニティ助成金
福祉	高齢	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催
	化	●町内全体の敬老会の開催	○福祉推進協議会で検討
体育	体育	●スポーツ大会の在り方	●種目の検討
		○スポーツ交流	○体育行事への参加
教育文化	文化財	御組（オクミ）、月山神社（佐野原共同）、金華山	
その他	行事	○集落内の交流	○集落夏まつり、新年会（年祝い）の開催
	役員	○集落公民館長の役割が多くて大変	
	役員	○世帯数の少ない集落なので、役員の負担が多い	



集落夏祭りの様子



6 佐野原集落

(1) 概 要

名 称	佐野原集落公民館
集 会 所	佐野原公民館 (99m ²) 昭和49年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口216人、世帯71戸、高齢化率36%
概 況	当集落は老松地区の中央部に位置し、県道花泉藤沢線の両側に集落が広がっています。家屋は丘陵部に散在し、水害等の自然災害は少ないです。また、農地の主である水田は金流川沿いの圃場整備地区に集中しています。 JR花泉駅や市花泉支所まで2～3km程度と比較的に近く、平成26年花泉バイパス開通により交通の利便性は格段に向上しました。これに伴い県道花泉藤沢線の交通量は少し減りましたが、集落内には歩道の整備されていない区間があり、小学生児童の登下校などでの交通事故に対する心配の声が、長年出され続けています。 集落の戸数は平成以降、少しずつ増えてきました。北上川堤防改修工事に伴う家屋移転などによるものですが、市内でも数少ない人口の増えている集落です。 その一方で住民同士の交流は減ってきており、特に新旧住民の繋がりやの少ないことが課題となっています。また、集落戸数の71戸に対し、完全な空き家は3戸あります(令和3年4月現在)。その数は今後増えていくことが見込まれ、防災や景観などの面から集落の懸案となっています。 佐野原の地名の由来は不明ですが、江戸時代には流(ながれ)三原と呼ばれる原野(涌津原・佐野原・清水原)の開発地の一つとして知られていたようです。 集落では昭和58年から花いっぱい運動を実施し、公民館前に佐野原ふれあい花壇を整備しました。6月中旬に住民共同で花苗を植え付け、その後9月まで全戸当番制で日々の手入れ作業を続け、毎年約2千本の花々をきれいに咲かせています。新旧住民が一体となって取り組むシンボル事業でもあります。その成果は市花いっぱいコンクールで最優秀賞のたび重なる受賞につながっています。 また、主な交流事業には1月の新年交賀会・祝寿会、4月の通常総会、9月の地区民運動会、10月の集落祭があります。春から秋の定期的な道路清掃活動ではゴミ拾いや草刈り作業に新旧、多数の住民が参加します。 集落公民館を快適に利用できるよう、平成27年にトイレ簡易水洗化の改修工事を行い、また令和2、3年には和室2室の全面フローリング工事で椅子掛けのテーブル会議ができるようになり、とても便利です。 今後、お互いに声を掛け合う、顔の見える機会を増やし、人の繋がり、地域の交流を深め、お互い様の気持ちで助け合う、住み良い佐野原集落を築き上げていきたいものです。
目 標	集落住民の親睦と相互扶助による、健康で明るい住民生活と集落の発展

(2) 地域計画

区 分		○現状 ●課題	○活動 ●要望
生活環境	環境	○花いっぱい運動の推進	○沿道花壇の整備
		○地域の環境整備	○道路河川愛護作業 ○春・秋の道路一斉清掃
	土木	●県道花泉藤沢線、水沢川から旧 J A 老松支所までの歩道の整備	●市（県）へ要望 ○用地の協力
		●佐野下二号線を花泉バイパスまで舗装整備	●市へ要望 ○用地の協力
		●御組払田線、法面が崩れているので修理	●市へ要望 ○側溝払い、土留め作業
	空き家	○空き家が増えているが、敷地から木の枝が隣地に伸び迷惑している	○所有者による伐採 ○集落による伐採
産業振興	農業	○U字溝の設置。支障木伐採、草刈り	○多面的機能支払制度の活用 (佐野原・御組集落活動組織)
	土木		
地域安全	消防	●防火水槽の設置 2か所	●市消防本部へ要望 ○用地の提供
	自主防	●防災訓練の実施	
	交通	●カーブミラーの設置 2か所	●市交通安全対策協議会へ要望
	防犯	●防犯灯の設置 2か所	●地域防犯協会へ要望
		○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
福祉	高齢化	○高齢者の交流	○佐野原ニコニコサロンの開催
体育	体育行事	●運動会への参加者が少なく、廃止してほしい	●体育協会への要望
教育文化	文化財	千葉胤秀旧宅、一里塚、相館屋敷、月山神社	○千葉胤秀旧宅（市文化財）
	先人	千葉胤秀の顕彰	○千葉胤秀顕彰花泉珠算競技大会の開催
その他	事業	○次の世代になると、行事などの参加は少なくなると思う	
	会費	○各種会費の集金をまとめてほしい	○一括集金の実施

事業	○転入者は草刈り作業の時しか顔を合わせることがないので、そのほかの行事にも出てほしい	○転入者も地域行事に参加したくなる企画の検討
役員	○高齢者や身体の不自由な人に役員を押しつけないでほしい	
	○役員の選出に時間がかかり苦勞する	○班ごとに輪番制にすることを検討



ニコニコサロンの様子



集落祭り



集落花壇の花壇づくり



道路愛護作業の様子

7 宿集落

(1) 概 要

名 称	宿集落公民館
集 会 所	宿公民館（45㎡）昭和50年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口113人、世帯33戸、高齢化率47%
概 況	当集落は老松地区の中央部に位置し東北本線、花泉駅より東へ約3キロメートルの地点にあり集落の中央部を県道花泉藤沢線（21号線）が西から東へ走る、その両側に点在する集落です。 平成10年には懸案事項であった歩道が整備され、子どもたちは安心して登下校していますが、集落の上の方がまだ残っています。 道路沿いに流れる藤田川をきれいにしてから、ゲンジボタルが飛び交うようになり、ゲンジボタルの北限と自負しています。 また、平成20年には広域農道が集落の北側に抜け、一関や千厩方面への交通が便利になりました。 その農道への入口付近に菰明館の標柱があり、後方にある山の稜線を利用した山城の跡が5カ所（内日形分2カ所）あります。天正18年（1590年）奥州動乱で宗家葛西氏と共に滅亡するまで千葉寺崎両氏の居館でありました。本丸や西、南館との杉林の中に、土塁が残っています。 さらに、その県道を上がっていくと惣左エ門供養蔵尊があります。寛政9年（1797年）に農民を塗炭の苦しみから救うため一揆がありました。一揆の指導者千葉惣左エ門は打首になり首切地蔵は供養塔として割山に宿集落を見守るように立っています。 そのほか集落内には八幡神社、愛宕神社、御伊勢神社の3つがあり、毎年11月上旬に三社合同祭を行っています。 集落は沼ノ沢と峠沢字がほとんどですが「宿」という地名は、北上川舟運の拠点日形から花泉に向かう途中の宿場から来ていると云われています。 老松市民センター（旧公民館）主催の「地区民芸祭」では、若い人が中心になって企画を行い、毎回グランプリ賞を獲得して、次回はそれ以上のものとエスカレート気味ですが、集落がこれほど熱くなるモノはありません。 他の集落からは、「どうして宿では若い人たちが多く集まるのだろう」と、不思議に思われているが、ずうっと前からの伝統です。祭の準備や行事ごとの反省会で親睦を深めています。 近年、北上川狹隘対策事業により、日形地区や藤沢地区からの転居世帯が7軒あり、皆、集落の一員となっています。 高齢化が進み行事などへの参加が減っていることから、ますます若者の皆さんに期待しております。誰もが参加しやすい環境を作っていきたいと思えます。
目 標	健康で明るく暮らせる環境をつくる

(2) 地域計画

区 分		○現状 ●課題	○活動 ●要望
生活環境産	環境環境	○花いっぱい運動の推進	○沿道花壇の整備
		○地域の環境整備	○道路河川愛護作業 ○春・秋の道路一斉掃除 ○ゲンジボタル生息地の保護
	放射能汚染	●県道花泉藤沢線の歩道の土砂がたまっているが放射能汚染物質のため撤去できない	●市へ要望
	支障木	●広域農道（馬骨峠沢線）沿いに竹が伸びている	●所有者による伐採 ○集落による伐採
	集積場	●指定日以外にごみの搬入が多い	○公衆衛生組合の取り組み ○ごみ問題対策巡視員による活動
	不法投棄	●不法投棄	○監視カメラの設置 ○注意喚起の啓発看板の設置
	土木	●県道花泉藤沢線の側溝に土砂が堆積しているので、大雨の際は道路が溢れる	●市（県）へ要望
		●県道花泉藤沢線の路肩はL字溝ですが、大雨の際は道路に水が溢れるのでU字溝にしてほしい	●市（県）へ要望
		●県道花泉藤沢線、旧日向前バス停から旧杉館前バス停までの歩道が亀裂や破損がおおいので修理してほしい	●市（県）へ要望
		●老松沼ノ沢一号線、県道花泉藤沢線からの入口の勾配の緩和	●市へ要望
		●藤田川の上流でU字溝が切れているところが、土砂崩れが起きているので改修してほしい	●市へ要望
	空き家	●空き家の撤去	●所有者による撤去
産業振興	農業		○多面的機能支払制度の活用（宿寿会）
	土木	●耕作放棄の防止、用水路の管理	○中山間地域等支払制度の活用（老松宿中山間）
	動物被害	●野生動物が増え、農作物の被害がある	●市へ要望（西磐狸友会） ○地域ぐるみの捕獲体制づくり ○補助制度の活用

地域安全	交通	●県道花泉藤沢線、日形から花泉間は追い越し禁止区間になっておりスピードをだす車両が多いので速度規制をしてほしい。	●市交通安全対策協議会へ要望 ●取り締まりを要望 ○街頭啓発活動
		●馬骨峠沢線広域農道への入口がわかりづらい	●市交通安全対策協議会へ要望
		●横断歩道の旗が壊れた	●安協老松分会へ要望
	防犯	●防犯灯の設置2か所	●地域防犯協会へ要望
		○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
福祉	高齢化	○高齢者の交流	○さざほぞサロンの開催
体育	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加
教育文化	文化財	首無し地蔵、苅明城、天照大神社、愛宕神社、八幡神社、唐獅子土蔵	○供養地蔵尊の清掃
	先人	千葉惣左エ門の顕彰	
その他	行事	○集落まつり	○集落祭りの開催
	組織		○婦人会、もみじ会の活動



グラウンドゴルフ大会優勝



集落花壇づくり

8 藤田集落

(1) 概 要

名 称	藤田集落公民館
集 会 所	藤田公民館（63m ² ）昭和63年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口95人、世帯27戸、高齢化率34.7%
概 況	当藤田集落は老松のへソに位置し、老松小学校を中心に半径300mに27世帯が住んでいます。少子高齢化の進行により、高齢化率は34.7%になり、このままいけば5年以内には40%を超えそうです。 集落名「藤田」の謂れは、福島県伊達郡から「藤田氏」が移り住んだことからと云われております。 小学校から愛宕公園に向かう途中には、市文化財に指定された「王壇」があります。「正中2年阿弥陀種子石塔婆」と刻まれた石碑があり中央にあり、花泉町内では一番古いものです。鎌倉から南北朝期の石塔婆が20基あります。 また、旧尋常小学校敷地内に奉安殿があり戦後に取り壊されることになりましたが、当時の青年学校・高等小学校の生徒により現在の地に移し、集落の守護神を豊隆神社奉安殿に安置しました。 集落の中央を走る舘ヶ崎線には大型車の往来が多く、その分道路が傷みますが補修は進みません。 平成26年に市道花と泉の公園線が整備されてからは、車の流れが変わり、大型車が減り、安心して子どもたちが登下校できるようになりました。 当集落は以前から老松小学校や市民センター（旧老松公民館）、介護予防センターが付近にあることから、公共サービスは優遇されてきました。 その小学校も、少子化のため令和5年3月に閉校が決まっております。子どもたちが賑やかに登下校する声を聞くことができなくなるのかと思うと寂しいです。 集落では道路河川愛護作業や集落花壇整備など、集落みんなが参加して協力いただいています。10年後を考えたとき、どのように変わっていくのか心配です。 去年はコロナ禍で、豊隆神社の参拝や新年会などの行事は行えませんでした。来年は集落内の交流事業が活発にできるようになればと思う今日この頃です。
目 標	明るく住み良い地域をつくる

(2) 地域計画

区 分		○現状 ●課題	○活動 ●要望
生 活 環 境	環境	○花いっぱい運動の推進	○沿道花壇の整備
		○地域の環境整備 ○愛宕公園	○道路河川愛護作業 ○春・秋の道路一斉掃除
	道路 河川 愛護	●有明橋線、有明橋手前の法面の形状がきついで、草刈が大変	●道路河川愛護会へ
	支障 木	●藤田佐野下線、道路に枝が迫り、反対側に池があるため交通に支障	○所有者による伐採 ○集落で伐採
	放射 能汚 染	●道路愛護作業で集めた砂利を回収してほしい	●市へ要望
	不法 投棄	●道路に吸い殻のポイ捨てが多い	○看板などの啓発活動
	土木	●藤田佐野下線の拡幅と舗装改良	●市へ要望 ○用地の提供
		●老松小学校線、舗装道路の延長（100m）	●市へ要望 ○用地の提供
		●館ヶ崎線、小学校の入口付近100m、L字溝のすき間から牛舎に水が流れ湿気る。U字溝にしてほしい。	●市へ要望
		●館ヶ崎線、水道管改修工事の影響で凹凸。	●市へ要望
産 業 振 興	農業		
	土木	○長堤、丸堤の堤体の土留め、補修。用水路の管理、点検。	○多面的機能支払制度の活用（藤田農地資源保全会）
地 域 安 全	交通	●県道花泉藤沢線に合流する、館ヶ崎線T字路、一時停止を止まらない運転手が多いので、大きな看板にしてほしい	●市交通安全対策協議会へ要望
		●館ヶ崎線、佐藤庄一さん向かいの歩道は、下が池で落ちたら危険なのでガードレールを設置してほしい	●市交通安全対策協議会へ要望
	防犯	●防犯灯の設置1か所	●地域防犯協会へ要望
		○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
福 祉	高齢 化	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催

体 興	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加
教 育 文 化	文化財	王壇（石塔婆）、流峠村豊隆神社、駒神社、熊野宮、和光院跡	○王壇（市文化財） ○流峠村豊隆神社の参拝
	先人	藤田正人、藤田 尚	
そ の 他	施設	○座るのがつらいので、テーブルと椅子を設置してほしい	○自治会等活動総合補助金制度の活用
		○トイレが臭いので、水洗化にしてほしい	○自治会等活動総合補助金制度の活用
		○運動会用のハチマキ、ブルーシート、集落の旗の更新	○自治会等活動総合補助金制度の活用
	事業	○若い人同士、集まる機会がすくない	



集落花壇づくり



流老松村豊隆神社での参拝



王壇にある正中2年阿弥陀種子石塔婆



集落課題懇談会の様子

9 宮沢集落

(1) 概 要

名 称	宮沢集落公民館
集 会 所	宮沢公民館（40m ² ）昭和44年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口 96人、世帯 27戸、高齢化率 38%
概 況	明治8年、旧男沢村と旧峠村が合併し老松村となりました。老松の地名は千葉大学の園庭の笠松に因んだものと云われております。その千葉大学の住んでいたところがここ宮沢集落です。 「宮」という言葉は、皇族の御殿、宮殿を意味します。 皇徳寺物語によりますと、「後村上天皇の皇子が、後継争を避けるため奥羽に逃げてきて皇徳寺で平穏な日々を過ごしておりました。しかし居場所を見つけられ、殺害されてしまいました。皇徳寺の法師は皇子の死を大変悲しみ、皇壇を築いて皇子の霊を慰め墓石を建立しました。その後、村人たちは皇子の居た場所を皇子屋敷と名づけ、皇子権現社を建てて霊を慰めた」とあります。 このことから、皇子の居た場所「宮」から宮沢と呼ぶようになったと思われます。 平成6年に開園したぼたん園は、平成12年に「花と泉の公園」になりベコニア館がオープンしました。これを機に集落の有志が「ぼたん生産組合」を立ち上げ、牡丹づくりに腕を磨きました。 また、平成26年に花泉バイパスが開通したことで、宮城県方面へのアクセスが良くなりました。 集落には守り神様として栄館神社があります。毎年秋には参道を掃除したり、しめ縄を奉納したりしています。その後公民館を会場に直会を行って親睦を図っています。 近年、集落行事への参加が低迷してきています。高齢化が進むことは避けられませんし、人口増も見込めない中でも、みんなで助け合う地域にしていければと思います。
目 標	住み良い地域づくりを推進する

(2) 地域計画

区 分	○現状 ●課題	○活動 ●要望
生 活 環 境	○花いっぱい運動の推進	○沿道花壇の整備
	○地域の環境整備	○道路河川愛護作業 ○春・秋の道路一斉掃除
	○藤田日形山線、草木の除去	●市へ要望 ○刈り払い

	土木	○老松宮沢5号線、水田法面が高いため草刈が大変。段差をつけてほしい	●市へ要望
		○雄明橋線の土側溝が埋もれて水が流れない。	●市へ要望 ○側溝掃除
		○老松宮沢3号線の側溝整備	●市へ要望
産業振興	農業	○五本松堤の泥上げ	
		○境川の改修	
		○中堤用水路の整備	○多面的機能支払制度の活用 (宮沢集落農村環境向上活動委員会)
	土木	○耕作放棄の防止、用水路の管理	○中山間地域等支払制度の活用 (中山間宮沢)
地域安全	交通	○公民館前、宮沢五号線と五本松堤線の接合部にカーブミラーの設置	●市交通安全対策協議会へ要望
	防犯	●防犯灯の設置2か所	●地域防犯協会へ要望
		○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
福祉	高齢化	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催
体育	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加
教育文化	文化財	王子社、栄館神社、雷神様、宮沢遺跡	
	先人	千葉大学	
その他	施設	○トイレの改修	○自治会等活動総合補助金制度の活用
		○時計の設置	
		○机と椅子の設置	
		○クーラーの設置	



河川愛護作業



道路清掃活動

10 上集落

(1) 概 要

名 称	上集落公民館
集 会 所	上公民館 (70m ²) 昭和42年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口51人、世帯16戸、高齢化率51%
概 況	上集落は「花と泉の公園」に隣接しております。 平安時代に、円仁（慈覚大師）が鳳伯山金提寺（834年）を開山したところで、寺森一山を寺域とする七堂伽藍の修業寺でした。 その一帯の上の方に位置したことから「上」と言われたのではないかと想像できます。 以前から畑屋場（ドゥバ）と言われているところに、「花と泉の公園」が整備されることになり、平成7年緊急発掘調査が行われました。予想どおり製鉄炉跡が発見され「寺沢遺跡」と命名された。 集落の中央には館が森アーク牧場に繋がる館ヶ崎線が通っており、東北新幹線工事に必要な砂利を輸送する道路として、幅員6m歩道付きの広い道路に整備され、大型ダンプが日に何度も往来しました。ひと時よりも交通量が減ったためか、カーブを勢いよく走る車が多いです。また地藏堂前の路盤が下がり、大雨の時は、雨水が溜まりなかなか抜けません。冬場にはそれが凍結して危険です。 16戸の小さな集落であり、比較的まとまりのある地域で、双葉会と称する長男会夫婦を中心に様々な活動を進めてきました。元旦の長寿者、年祝いの会が恒例となっており、春には沿道花壇の整備活動、夏には納涼の夕べ、秋には収穫祭、そして冬には新年を迎える準備として門松づくり、しめ縄づくりを行ってきました。ここ数年、構成員の高齢化に加え、新型コロナの影響で活動が低迷しており、今後、以前の様な活発な活動に戻るかは大きな不安です。 各戸の構成は、小規模兼業農家が主で、少子化、高齢化が進んでおり農業の担い手不足が大きな課題となっております。農地の自主管理が難しい状況から、小作等の委託農家が多数発生しているのが実情で、最近では共同作業への参加も困難になりつつあります。 何とか助け合いながら現在の環境を維持しているものの、互助の精神だけでは限界にきており抜本的な対策は必要と考えております。 高齢化が進んでいるとは言え、小学生とその親の家庭もゼロでは無いことから、今後、そのような若い世代が地域を盛り立てて行くための工夫が必要と考えます。
目 標	互助の精神を大事にし、住みよい地域づくりを推進する

(2) 地域計画

区 分		○現状 ●課題	○活動 ●要望
生活環境	環境	○花いっぱい運動の推進	○沿道花壇の整備
		○地域の環境整備	○道路河川愛護作業 ○春・秋の道路一斉掃除
	集積場	●ごみの分別ができていない	○公衆衛生組合の取り組み ○ごみ問題対策巡視員による活動
	ごみ	●粗大ごみの不法投棄の防止	㊤地区としての取り組みを検討
		●ゴミの不法な野外での焼却防止	㊤地区としての取り組みを検討 自主防災会、消防団か
	土木	●館ヶ崎線、地蔵尊付近が低いので冠水する。排水路の整備や道路を高くしてほしい。	●市へ要望
		●館ヶ崎線、上集落公民館入口両端（現在土側溝）にU字溝を設置	●市へ要望
		●花と泉の公園よりの排水溝の末端（千葉定義宅後）の破損修理	●市へ要望
産業振興	農業	○農家の担い手不足 ○営農センターでは限界	○農業生産組織の構築の検討
		●施設の長寿命化	○多面的機能支払制度の活用 （男沢ふるさと保全団体農地・水・環境保全団体）
	土木	○農地維持管理作業、耕作放棄の防止、用水路の管理	○中山間地域等支払制度の活用 （中山間男沢）
	動物被害	○野生動物による作物の被害	●市へ要望（西磐猟友会） ○有害鳥獣捕獲応援隊（男沢・内之目地区隊員）での取り組み ○地域ぐるみの捕獲体制づくり ○補助制度の活用
地域安全	消防	●消防団員の確保	●市消防本部 ○団員による勧誘、家族や職場の理解
	交通	●安協老松分会の役員用のジャンパーが不足している	㊤地区としての取り組みを検討
	防犯		
		○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
福祉	高齢化	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催

体 育	体育	○少子高齢化に対応した体育行事をしてほしい	㊤地区としての取り組みを検討
	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加
教 育 文 化	文化財	座禅石、龍神堂、金提寺、衆徒塚、諏訪神社、弁天社、寺沢遺跡、	
	先人		
そ の 他	組織	●人口減少に伴う集落の再編成	○長期的な検討
	行事	●少子高齢化に対応した行事の設定	○地域ぐるみで検討
	過疎	●少子高齢・過疎化が進み、世代の交代・後継者育成が困難	
	施設	●集落公民館の駐車場整備	○集落検討委員会を設置して対応



集落花壇づくり



集落花壇づくり



年祝い



芸能祭り

11 館平集落

(1) 概 要

名 称	館平集落公民館
集 会 所	館平公民館（50m ² ）平成29年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口 人、世帯 戸、高齢化率 %
概 況	館平集落は老松地区の南に位置し、北東から田野沢川が金流川に注いでいます。 当集落には奥州三十三霊場の「六角堂」や旧老松村村社の「豊隆神社」があり、元朝参りには周辺の小祠を併せて巡るなど、人々の拠り所となっています。 また、「館平」という地名は室町時代に栄えた「鷹鳥館（城）」から由来と云われています。 田野沢線が拡幅され舗装道路になってからは、見通しが良くなりとても便利になった反面、交通量が多く大型車の通行も増えました。 平成9年に金流川沿いの圃場整備が行われ大区画になり、農作業や維持管理がしやすくなりましたが、後継者が少なく困っています。 男沢地区（上、館平、照盛、小沼集落）の人たちで地域の環境整備を行っていますが、今後高齢化が進み活動を継続できるか心配であります。 予ねてからの懸案事項でありました公民館建設は、平成29年に市からの補助金と地域の協力をいただき平屋建て50m²を新築しました。これを機に3か月おきに情報交換をかねて4軒位の輪番制で公民館の内外を掃除しています。 上通り（館平線）と下通り（田野沢線）に田野沢（田野沢線）とそれぞれの沿道に家が点在していて、歩いて行ける距離なので交流（お茶っこ飲み）があります。 館平老人クラブでは六角堂、公民館の草取りやしめ縄作りのボランティア活動をしています。 子供会は少人数のため上、館平、照盛、小沼集落で男沢子供会として活動しています。 今後、ますます高齢者世帯が増加していくことが予想されることから、見守る人も見守りされる人との近所関係を良くして、少しでも安心できる集落になるよう、環境を整えなければならないと思います。
目 標	安全・安心に暮らせる環境をつくる

(2) 地域計画

区 分		○現状 ●課題	○活動 ●要望
生活環境	環境	○花いっぱい運動の推進	○沿道花壇の整備
		○配布されている苗では足りないが、集落では資金不足で苗を用意できない	④助成事業の創設
		○地域の環境整備	○道路河川愛護作業 ○春・秋の道路一斉掃除
	土木	●館ヶ崎線、水たまり、歩道、縁石、側溝の改修	●市へ要望
		●田野沢線、田野沢ダム向かいの法面の崖崩れ	●市へ要望
産業振興	農地	○農地維持管理作業、耕作放棄の防止、用水路の管理	○中山間地域等支払制度の活用（中山間男沢）
	土木	●水路掃除・修理、ため池改修など施設の長寿命化	○多面的機能支払制度の活用（男沢ふるさと保全団体農地・水・環境保全団体）
	農作物被害	●補助金の条件などがきびしい	●市へ要望
		●野生動物が増えてきて困っている	●市へ要望（西磐猟友会） ○有害鳥獣捕獲応援隊（男沢・内之目地区隊員）での取り組み ○地域ぐるみの捕獲体制づくり ○補助制度の活用
	就業	●若者の就職先、跡取りが戻ってこない	●働く場の確保のための企業誘致
地域安全	防災	●消防団員の入団が少なく、地元消防団が存続できない	●市消防本部 ○団員による勧誘、家族や職場の理解
	交通	●田野沢線、カーブミラーの設置	●市交通安全対策協議会へ要望
	防犯		
		○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
福祉	高齢化	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催
		○さらに高齢化過疎化が進む	
		○高齢者の見守り	民生児童委員や行政区長が対応
		○老人クラブが消滅	
体育	行事	○スポーツ大会は種目や開催方法が改善された	○要望に対応した事業の開催
	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加

教育文化	文化財	六角堂、豊隆神社、道慶寺、鷹鳥城跡、坐禅石、龍神堂、地藏堂、御不動様、五位取り様、古峰神社	
	先人		
その他の他		●移動手段がなく行事参加が大変	○市営バスデマンド交通の検討
		●公民館の改築	○平成29年度改築
		●椅子が欲しい	○自治会等活動総合補助金制度の活用



六角堂の環境整備



集落花壇の植栽



集落課題懇談会



集落課題懇談会

12 照盛集落

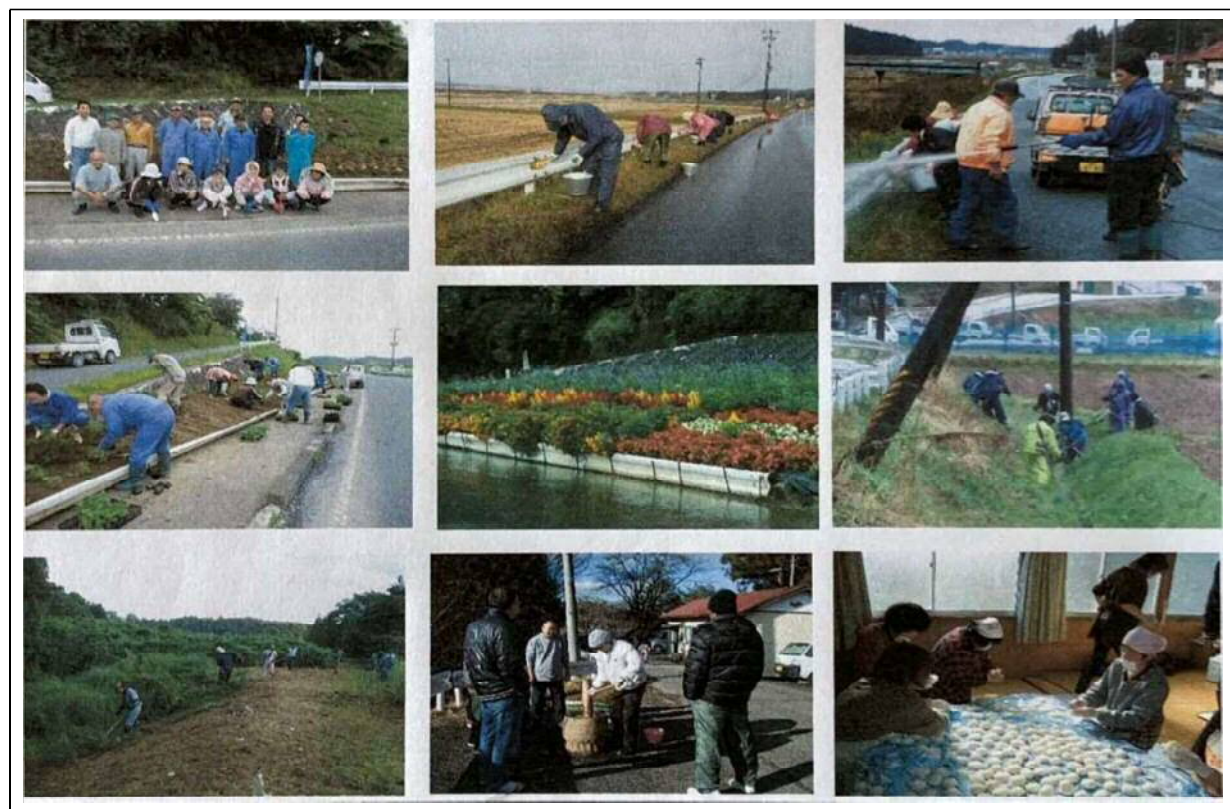
(1) 概 要

名 称	照盛集落公民館
集 会 所	照盛公民館 (60m ²) 昭和41年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口53人、世帯18戸、高齢化率 %
概 況	旧男沢村の中ほどに「照盛」集落があります。 平安時代に、円仁（慈覚大師）が鳳伯山金提寺（834年ころ）を開山したころ、寺森一山を寺域とする七堂伽藍の修業寺院とあることから、寺沢の峯に本堂があり、寺森を転じてのちに照盛になったと伝えられております。 集落では、衆生救済のため土中に籠り即身仏となった行者を祀っている富士権現や三峰神社、小峰山を春と秋の2回、当番制で奉納を行っています。 集落の南には採石場（舞石興産）があり、この辺も一帯硬い岩盤で多くの住宅は傾斜地にたたずんでいます。 その地形から、市道照盛線は袋小路になっており、大型車両や緊急車両が侵入してきた場合、進路変更が容易でないことが悩みの種でした。集落では、照盛線から採石場に向かい館ヶ崎線へ抜けるようにと陳情しましたが、行政では莫大な工事費になるため実現には至りませんでした。 しかし平成30年に土地の提供があり大型車両の回転場を設け、不安は一部解消いたしました。 平成4年に花藤橋が開通してからは、藤沢町にアーク牧場やサファリパークなどの施設ができ、観光シーズン中の車の往来が増加しました。 また、公民館は築55年が経過し、床が傾き、窓の建付けも悪くそろそろ大改修が必要になってきました。 照盛線には入口の空き地を集落花壇にして、毎年集落全員で花を植え草取りをして沿道を通る人の目を楽しませています。また、ガードレールやカーブミラーの清掃活動も行っています。 公民館では、新年会や集落旅行を企画し遠くの方まで行っていますが、今年は新型コロナの影響で中止しました。 集落の核となる照青会（長男会）は定期的に公民館集まり、情報交換を行い、12月には鏡餅やめえ玉を作り、希望する世帯に配っています。 高齢化が進み一人暮らし世帯が増えてきており、耕作地の維持や草刈り作業の共同作業が困難です。 小さな集落ではありますが、何事にもまとまりがあり皆さん協力してくれます。 少子高齢化の進む中、田舎の良さである近所付き合いを大切にし、一人暮らし世帯への声掛け安否確認などをし、住民同士で支え合い、住み良い地域環境づくりを進めていきたいと思っております。
目 標	住民同士が支え合い住み良い地域環境づくりの推進

(2) 地域計画

区 分		○現状 ●課題	○活動 ●要望
生活環境	環境	○花いっぱい運動の推進	○沿道花壇の整備
		○地域の環境整備	○道路河川愛護作業 ○春・秋の道路一斉掃除 ○アドプト協定の締結 (照盛・小沼環境保全会)
	道路河川愛護	○道路河川愛護に高齢者も参加しているが、若い人たちに負担をかけている	●道路河川愛護会へ要望
	ごみ	●沿道にごみやタバコの吸い殻、犬の糞などが放置されている	●監視カメラの設置 ○公衆衛生組合の取り組み ○ごみ問題対策巡視員による活動 ○注意喚起の看板等の設置、啓発活動
	土木	●照盛線の横断管の下流は、館ヶ崎線まで土側溝のため土砂が崩れ埋まっているので、U字溝を設置して欲しい	●市へ要望
		●館ヶ崎線、宮沢集落から舞石興産区間にひび割れやへこみができた	●市へ要望
		●照盛線入口の水路の布設。照盛バス停上り坂の土側溝をコンクリートに	●市へ要望
		●照盛公民館から林道に続く道路を作ってほしい	○用地の協力 ●市へ要望
		●林道下清水線の水路、舗装整備	○用地の協力 ●市へ要望
		●金流川の堤防（金流川左岸三号線）を、小中学生の通学に利用できるようサイクリングロードにして欲しい	●市へ要望
	公共交通	●免許証を返納した場合、交通手段がなくなる。市営バスを毎日運行して欲しい	●市へ要望 ○デマンド交通の検討
産業振興	農地	○農地維持管理作業、耕作放棄の防止、用水路の管理	○中山間地域等支払制度の活用 (中山間男沢)
		●高齢化、担い手支援、地域農業維持	○地域農業マスタープランの実施
	土木	●施設の長寿命化	○多面的機能支払制度の活用 (男沢ふるさと保全団体農地・水・環境保全団体)
	農作物被害	●野生動物による農作物被害 ●駆除してほしい	●市へ要望（西磐猟友会） ○有害鳥獣捕獲応援隊（男沢・内之目地区隊員）での取り組み

			○地域ぐるみの捕獲体制づくり ○補助制度の活用
地域安全	消防	●防災行政無線屋外広報マストが干渉を起こしているので聞きにくい	●市消防本部へ要望 ○防災メールやFMラジオでの情報受信
	交通	●館ヶ崎線の速度規制	●市交通安全対策協議会へ要望 ○啓発活動
		○花と泉の公園線、花泉バイパスに合流するところに一時停止の標識の設置	●市交通安全対策協議会へ要望 ○安全確認の啓発活動
	防犯	●防犯灯の設置3か所	●地域防犯協会へ要望
		○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動
福祉	高齢化	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催
体育	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加
		○参加することが身体の負担になる	
		●参加者が少ない種目は見直してほしい	●体育協会へ要望
教育文化	文化財	○富士権現、神明社、男沢尋常小学校跡地、照盛遺跡	
	先人		
	施設	●冷蔵庫の設置	○自治会等活動総合補助金制度の活用



13 小沼集落
(1) 概 要

名 称	小沼集落公民館
集 会 所	小沼公民館（30㎡）昭和55年建設
人口規模	令和3年4月現在 人口 人、世帯 戸、高齢化率 %
概 況	老松地区の南端「小沼」は、日形下清水と永井川の口に接しており、金流川の下流に位置しています。 大尻橋から市道舘ヶ崎線を南に 800m行ったカーブを過ぎたところに「小沼風穴」がある。明治 36 年（1904）福島県の養蚕農家が地中より冷風が吹いていることを発見、伊達地方の秋蚕種を貯蔵し、岩手県雫石とこの小沼の2か所が、東北の養蚕業に大きく貢献したとのこと。 小沼は、金流川の河口流域で御沼であり、水位が下がり最後まで残ったゆえに御沼が小沼になったと云われています。 金流川の下流であることや大きく蛇行していた小沼付近は、毎年のように水害に悩まされていた。昭和 40 年代に金流川ショートカット事業により、大雨による急な洪水からの心配は解消された。 しかし、その下流は、北上川からの背水（バックウオーター）からの洪水により、水田の灌水や家屋の浸水被害は続いていました。 平成 20 年度に、北上川上流狹隘地区治水対策として世帯 6 戸が立ち退きをすることになり、令和 4 年度末には 4 世帯になりました。限界集落を前に、集落は消滅を迎えようとしています。 老松の皆さん、かつてこの場所に多くの人家がなしていたことを忘れないでください。
目 標	

平成14年7月台風6号洪水 北上川上流水害写真集より

昭和44年ショートカット事業 広報はないずみより

(2) 地域計画

区 分		○現状 ●課題	○活動 ●要望
生活環境	環境	○花いっぱい運動の推進	
		○地域の環境整備	○道路河川愛護作業 ○春・秋の道路一斉掃除 ○アドプト協定の締結 (照盛・小沼環境保全会)
	不法投棄	●家庭ごみの不法投棄	○啓発看板の設置 ○ごみ問題対策巡視員による活動 ●監視カメラの設置
	集積場	●ごみの分別ができていない	○公衆衛生組合の取り組み ○ごみ問題対策巡視員による活動
	動物	○捨て猫	●監視カメラの設置
	土木	●道路用地にかかる土地の所有権移転の問題	
産業振興	農業	●中江排水堀の整備	○基盤整備を含めて受益者で検討
		○農地維持管理作業、耕作放棄の防止、用水路の管理	○中山間地域等支払制度の活用 (中山間男沢)
		●高齢化、担い手支援、地域農業維持	○地域農業マスタープランの見直し
	土木	●施設の長寿命化	○多面的機能支払制度の活用 (男沢ふるさと保全団体農地・水・環境保全団体) ○水利組合
	動物被害	●電気牧柵の補助の枠が狭くて使えない ●狩猟免許や罟の費用が高い。補助してほしい	●市へ要望
		●野生動物による農作物被害	●市へ要望(西磐猟友会) ○有害鳥獣捕獲応援隊(男沢・内之目地区隊員)での取り組み ○地域ぐるみの捕獲体制づくり
地域安全	交通	○防災行政無線屋外広報マストが干渉を起こしているので聞きにくい	●市消防本部へ要望 ○防災メールやFMラジオでの情報受信
	防犯	○小学生の登下校の安全	○見守り隊の活動

福祉	高齢化	○高齢者の交流	○さざほざサロンの開催
体育	体育	○スポーツ交流	○体育行事への参加
教育文化	文化財	小沼風穴、沼神社、監婆観音、千年杉、 亀甲岩、小沼清水	○小沼風穴の保全整備 ○小沼清水の整備 ○監婆観音の移設
	先人		
その他		●北上川上流狭隘地区洪水対策 ①家屋移転を第一に検討してほしい ②他地区と格差ない対策をしてほしい ③一関遊水地完成前に対策を講じてほしい ④浸水の情報連絡、避難体制を万全にしてほしい	○金流川総合流域防災事業で実施 ①一関土木センターでは、家屋移転に向け用地補償契約の締結を進める ②県が策定した河川の治水計画に基づき用地補償の調査を実施し地元説明会を行っている ③対策の充実・均衡や早期完成に向け、引き続き一関土木センターへ要望して参る ④これまでと同様に防災行政無線および行政区長などを通じて連絡する
		●集団移転後の集落の在り方	○近くの集落への編入の検討



集落課題懇談会の様子

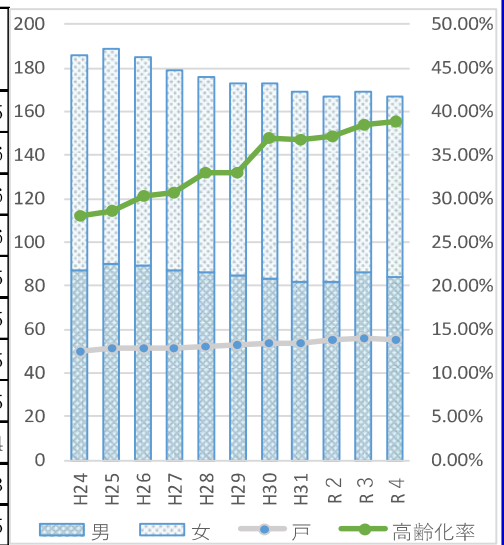


集落課題懇談会の様子

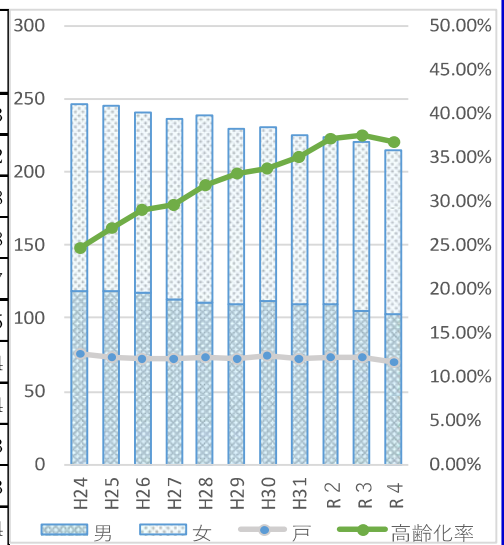
資 料 編

1 行政区ごとの人口等の推移

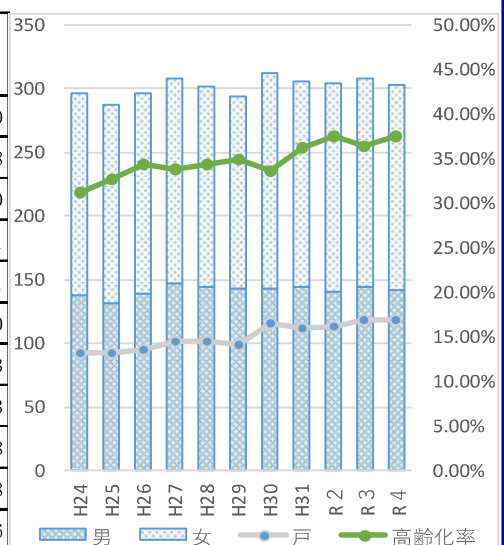
1 区	世帯数	人 口（人）					1 歳未 満の人 口	0～4歳 未満の 人口
年	戸	男	女	合計	高齢者	高齢化率		
H24	50	87	99	186	52	27.96%	1	5
H25	51	90	99	189	54	28.57%	0	6
H26	51	89	96	185	56	30.27%	2	6
H27	51	87	92	189	58	30.69%	1	6
H28	52	86	90	176	58	32.95%	1	5
H29	53	85	88	173	57	32.95%	0	5
H30	54	83	90	173	64	36.99%	0	5
H31	54	82	87	169	62	36.69%	2	5
R 2	55	82	85	167	62	37.13%	0	4
R 3	56	86	83	169	65	38.46%	0	3
R 4	55	84	83	167	65	38.92%	2	5

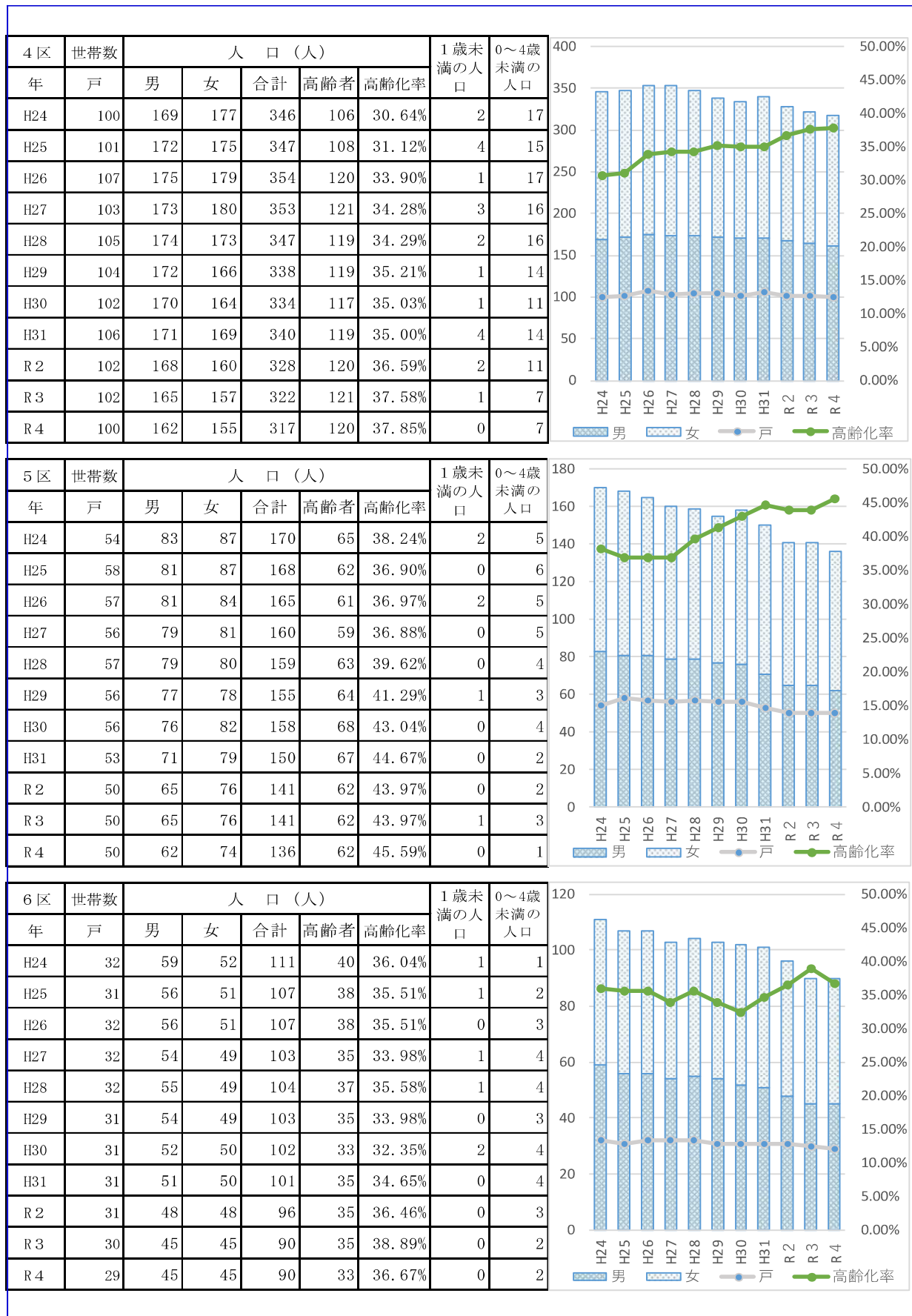


2 区	世帯数	人 口（人）					1 歳未 満の人 口	0～4歳 未満の 人口
年	戸	男	女	合計	高齢者	高齢化率		
H24	75	118	129	247	61	24.70%	1	13
H25	73	119	126	245	66	26.94%	2	12
H26	72	117	124	241	70	29.05%	1	8
H27	72	113	123	236	70	29.66%	1	8
H28	73	111	127	235	75	31.91%	1	7
H29	72	110	119	229	76	33.19%	0	5
H30	74	112	119	231	78	33.77%	1	4
H31	72	110	115	225	79	35.11%	1	4
R 2	73	110	114	224	83	37.05%	1	3
R 3	73	105	116	221	83	37.56%	1	3
R 4	70	103	112	215	79	36.74%	1	4



3 区	世帯数	人 口（人）					1 歳未 満の人 口	0～4歳 未満の 人口
年	戸	男	女	合計	高齢者	高齢化率		
H24	92	138	159	297	93	31.31%	2	10
H25	93	132	156	288	94	32.64%	0	8
H26	95	140	156	296	102	34.46%	2	10
H27	102	147	161	308	104	33.77%	5	11
H28	102	144	158	302	104	34.44%	1	11
H29	99	143	151	294	103	35.03%	2	10
H30	116	143	169	312	105	33.65%	2	13
H31	112	145	161	306	111	36.27%	1	13
R 2	113	141	163	304	114	37.50%	1	8
R 3	119	144	164	308	112	36.36%	1	8
R 4	119	142	161	303	114	37.62%	1	6







2 アンケート結果

(1) 集落課題懇談会でのアンケートの結果

集落からの課題要望や老松地区の未来像を伺うため、令和2年8月開催の集落課題懇談会にあたり、全世帯にアンケート用紙を配布しました。

回収率はあまりよくありませんでしたが、いただいた意見は集落ごとの地域づくり計画に反映させ、また、市民センターへの意見につきましては、検討のうえ事業に反映させていきます。

① 老松地区の未来像

区分	内 容
① 老松地区のいいところ	・ 夏祭りや地区民運動会は継続してほしい ・ 地区の協力者が各集落にたくさんいる ・ 地理的に利便性がよい ・ 住み良い ・ 人口が増え、子どもたちが多くなった ・ 比較的まとまりがあり、人柄もよいと思う ・ おもしろく、おがすぐ、さざほざどをモットーとして生活しているところ ・ 花泉駅に近い。住人が親切 ・ さざほざど過ごしているところ ・ 自然が豊か、災害がない ・ 静かな環境にあるところ ・ パワーがある人が多いところ。 ・ みどりがいっぱいの森、田園地帯、花と泉の公園、先人顕彰の郷 ・ 気軽に立ち寄れるところ。笑顔で迎えてくれる ・ 花と泉の公園がある ・ 優しい人がいる ・ 考えたことが無い ・ 人が優しい

② 老松地区のいやなところ	・ 先人顕彰太鼓は老松で作ったものですが、他の地区の方も入ってきているのか、老松地区からの参加者が少ない（他地区を入れて広めていくことの意見です） ・ いつも行事に参加する人は決まっている ・ 先頭に立つ人材 ・ 若者もいるが具体的な意見が出てこない ・ 佐野原地区の歩道の設置が進まない。小学校の廃校 ・ 行事が多いところ ・ 地区民運動会など人がいないのに、無理に開催するところ（体育大会なども） ・ 世帯数が増えない ・ わからない
---------------	---

③ 未来 悪くならないでもらいたい	・せっかくお金をかけて立ち上げた太鼓がすたれてしまったり、どこのものか分からなくなったりしてしまうこと ・人口減少 ・この地域が都会化（人の心も）しないように ・非協力的な考えを持たないように ・小学校の校舎や校庭が荒廃化しないように ・花と泉の公園がなくならないでほしい ・運動会で年代別など対象者がいないことで、選手にするのはやめてほしい ・年配の方を邪魔にする様なこと
-------------------------	--

④ 良くなってもらいたい未来	・老松と言えば「コレ」というもの、祭りなど代名詞になるようなものがあればいい ・人口増加 ・高齢になっても安心して暮らせるところ ・若い人たちが老松の良さを引き継いでいってほしい ・老松地区の評価が上がること ・小学校校舎を活用して地域の活性化を図る ・現状を維持してほしい ・若い人も行事に参加してほしい ・活気のある地区になってほしい ・大人も子どもも楽しく過ごせるように ・会社、工場などを誘致して就労の場を増やすと若い人（高齢者も）の定住・移住につながるのではないのでしょうか ・人口が増えるといいかな
-------------------	--

② 老松市民センターの課題

区分	内容
改修	・駐車場に区画線を付けてほしい ・ゲートボール場は使用していないので舗装の駐車場にしてほしい ・女子トイレを改修してほしい。スリッパを脱ぐ位置、履く位置が使いにくい。トイレを洋式化してほしい（避難所にもなるから） ・駐車場が狭い(広くしてほしい) ・洋式の水洗トイレにしてほしい ・外トイレが欲しい ・女子トイレの洋式化 ・利用しないので分からない
	・利用が少ないので、よくわからない

備品	・正座ができない方が多くなってきたので座椅子の設置 ・長テーブルと椅子を設置してほしい ・室内軽スポーツ用品の整備（体を動かすことが少なくないので、集落にも貸し出ししてほしい） ・講座室に長机と椅子を設置して欲しい ・イルミネーション、スポットライト、紅葉のライトアップに活用したい ・館内にある旧態依然で貧弱な音響装置を一新 ・館内以外に対応できるデジタル音響装置を設置してほしい ・利用しないのでわからない ・座卓用の椅子を設置してほしい
----	---

継続事業	・グラウンドゴルフは続けてほしい ・植木のせん定講座の開催 ・芸能祭り、参加者が多い ・祭り、イベントなど、毎年賑わいがなくなりつつある ・利用しないので分からない ・ほとんど参加できない（土曜、平日に行事があると参加できなく、何をしているのかあまり興味がない）
新規事業	・生け花教室（自分磨き）・着物着付け教室（自分磨き）・畑仕事のイロハ講座（参加者同士が知識を教え合う）・植木のせん定講座 ・家庭菜園、果樹の手入れ ・庭木の手入れ、せん定 ・男性向けの料理講習 ・終活講座（高齢になって慌てないため） ・コロナに負けない健康講座 ・来年度は、四季ごとにまつりを実施してはどうでしょうか ・利用しないので分からない ・集落の集まりがある度に、皆で交通安全と防犯を注意し合う
見直事業	・行事は増やさないで欲しい ・夏季のイベント（夏季球技大会や地区民運動会、夏まつり）は参加するのに危険な暑さなのでの開催時間の調整、延期または廃止してほしい ・利用しないので分からない ・球技大会、地区民運動会は参加者がすくないので見直ししてほしい ・参加することが身体的に負担になることの方が多い
廃止事業	・運動会に参加するのは70代、若い人を集められない ・元旦歩け歩け大会、年々参加者が少なく意味がない ・参加者が少ないので、地区民運動会をやめて欲しい

	・利用しないので分からない ・寒くてケガをしそうなので、冬季球技大会をやめてほしい ・運動会（参加する人が少ない、競技に来る人が何度も出ることになる）
--	---

（２）親子アンケートの結果

老松地区地域づくり計画の見直しにあたり、将来を担う子どもたちからの意見を反映させるため、令和３年１２月１０日から２０日まで親子アンケートを実施いたしました。

対象は、小学４・５・６年生３７人（回答２９人）、中学生４０人（回答１５人）、高校生２０人（回答１０人）合計９７人とその保護者です。

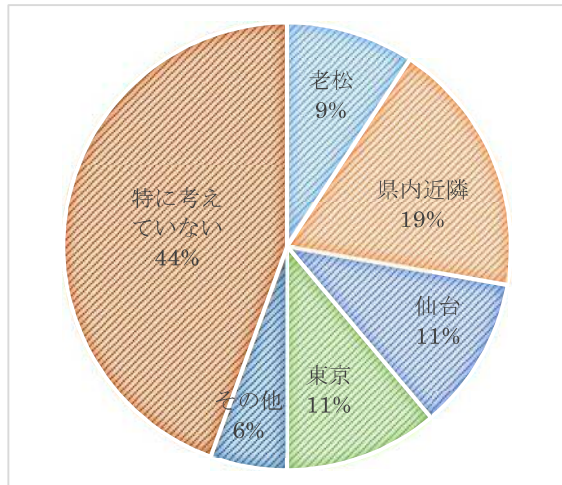
回収状況は５４人（男２４人、女３０人）で、回収率は５５．６７％でした。

○アンケートの結果は、以下のとおりです。

グラフは小学生から高校生までの総計で表しています。

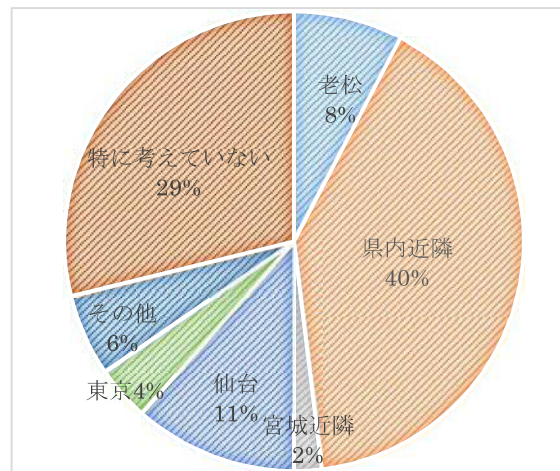
子：あなたは何人兄弟ですか？ ・世帯ごとの集計でないことから、読み取りには注意してください。	子：あなたは家を継ぎたいと思いますか？ ・学年が高くなるにつれて、「はい」「いいえ」の回答が多くなる。
子：あなたは将来の仕事をきめましたか？ ・小学生 35%、中学生 47%、高校生は 50%の割合で将来の仕事を決めている。	親：どのような仕事に就かせたいですか？ ・「希望あり」の親の内訳は、小学生 17%、中学 13%、高校なしとなっている。

子：あなたは将来どこに住みたいですか？



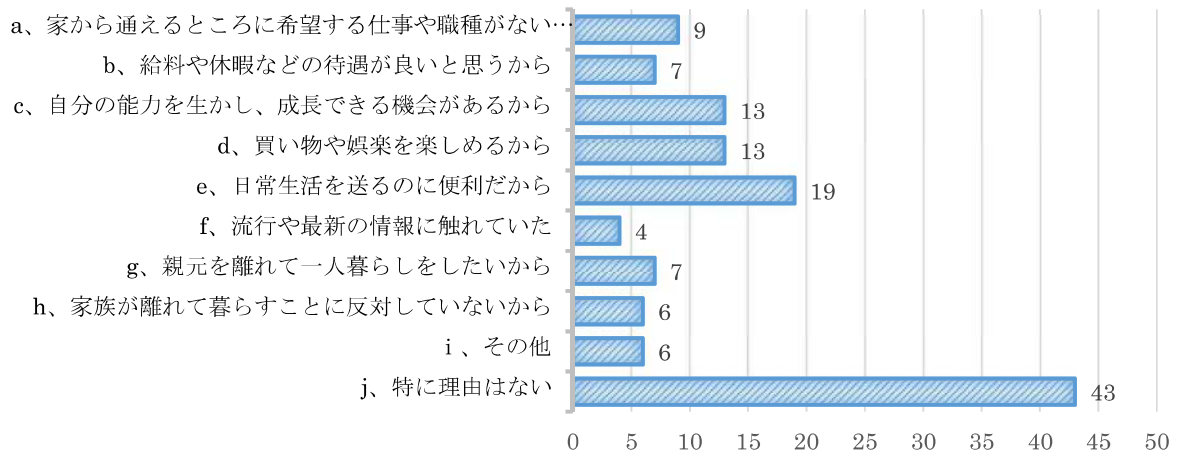
・老松に住みたい人は5人で、その理由は住み慣れた町だから、自然環境がよいから、友達や仲間がいるからの順です。

親：大人になったらどこに住んでもらいたいのか？

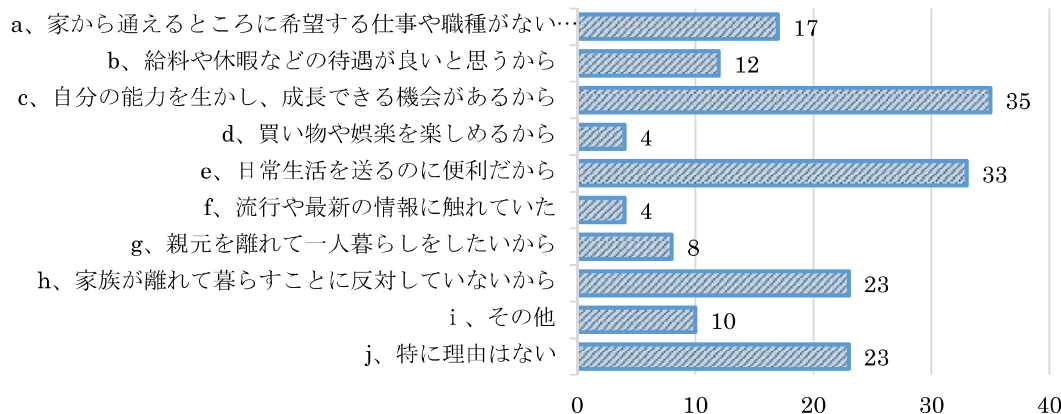


・老松に住んでもらいたい小学生の親は4人で、その理由は家から通えるところ、住み慣れた街、家族と一緒に生活の順です。中・高生はなしです。

子：老松地区以外に住みたい理由（複数回答）



親：老松地区以外に住ませたい希望（複数回答）



○次に老松地区のことについて尋ねしました。

その回答の中から、多い意見や特徴的なものをご紹介します。

分からない、特になしという意見は省略いたします。

①老松地区の良いところ（自慢できるところ）、好きなところは何ですか？

小学生	自然が多い。あいさつをしてくれる。優しい人が多い。事故が少ない。ゆったり生活できる。田や畑がたくさんある。雪が少なく穏やか。和算に取り組んでいる。アマエビがある。
中学生	自然が多い、自然がきれい。夏、秋の水田がきれい。伝統文化がたくさんある。図書館が近い。祭りがある。
高校生	自然が多い。人が温かい。のどか。挨拶が盛ん。静かに暮らしやすい。祭り

※ 老松のみどり豊かな自然。人がやさしく、あいさつを交わしてくれる。

②老松地区の不満（良くない）と感じるところは何ですか？

小学生	店が近くにない。ゴミのポイ捨て。集団登校。ど田舎。バスの便が少ない。虫が多い。
中学生	店がない。外灯が少ない。ゴミが落ちているところ。若い人が少ない。ヒカリ通信がない。公共施設の不足。老松地区の良いところを伝えていない。あいさつが小さい。
高校生	交通手段が無い。スーパーやコンビニが無い。交通機関がない。道路がガタガタ。賑わいが少ない。他人のことを干渉しすぎ。もっと支え合えばよいと思う。

※ ゴミが落ちていることに心を痛めている。近くにコンビニなどがあればと望んでいる。

○次に老松地区の未来について尋ねました。

特になし、無回答のものは除きました。No.は「良い未来」と「悪い未来」とが対応しております。内容は原文のまま記載しております。

① 良くなってもらいたい老松地区の未来像とその対策

区分	No.	良 い 老 松 の 未 来	そうなるには自分にできること	地域の人にしてもらいたいこと
小学生	2	明るい地区	あいさつを積極的にする	ない
	4	店がいっぱいある	努力	金をだす
	3	人口が増えてほしい	良いところをつたえる	
	7	子どもが多くなり、小学校が復活してほしい		変化を受け入れる
	8	人口が増えてほしい	良いところを伝える	
	9	拡大してほしい	募金	募金
	10	今のまま	今のまま	今のまま
	11	みんな平等であってほしい	分からない	分からない

	13	みんなが思いやりをもっている。あいさつが聞こえる。	常に人とすれ違ったらあいさつをする	みんな親切にする
	17	しあわせになってほしい	環境を大切にする	自分と環境を大切にしてほしい
	20	みんなに愛されている地区	いいところをふやす	いろいろなことに協力してもらいたい
	21	遊び場が多くなってほしい		
	23	交通の便を増やしてほしい	行政の管理	協力
	24	そのままでいてほしい	ゴミを見つけたら拾って環境に気を付けていきたい	タバコのポイ捨て、ゴミのポイ捨てをなくしてほしい
	25	コロナがなくなってほしい。遊ぶ場所を増やしてほしい。	感染対策をしっかりとる。	マスクをつけてほしい
	28	交通事故のない、安心安全な地区になってほしい	横断歩道を使って渡る	横断歩道が必要なので増やしてほしい
	29	清潔感のある地域	ゴミ拾いに積極的に取り組む	ポイ捨てに気づいたら拾うようにしてもらおう
中学生	2	豊かな自然であふれ活気あるところ	地域活動に積極的に活動するよう呼びかける	地域活動に積極的に参加する
	3	餅をメインにした町おこしや大黒舞などの伝統的な踊りを継続してほしい	お祭りや行事に積極的に参加し地域を盛り上げていきたい	地域の方が色々な行事に参加して交流を深めてほしい
	4	よく分からない		老人が多くなっているのので、1人暮らしの家を訪問、声かけなど
	5	自然は残っているけど活性化している地区	土地を利用して企画を大きくする	コロナが収まったらいろいろな行事をする
	6	今のままでいい	地域の方々と触れ合う	触れ合い
	8	自然が残ったおしゃれなまち。	最新の情報を取り入れる	時代の変化に対応してほしい
	10	みんながもっとお祭などに参加して仲を深めてほしい	呼びかけやポスターを書く	行こうとする努力をしてほしい
	12	花泉で一番きれいな地区	ゴミが落ちていたら拾う	ゴミ拾い

	13	活性化してほしい	アイディアを出す	アイディアを出してもらおう
	14	自然が豊で安全	今の現状を続ける	今のままで過ごす
	15	変わらないでほしい	まだわからない	まだわからない
高校生	3	電車が通るなど、交通機関が発達してほしい	老松の利益を増やし、待遇を良くして人口を増やす	老松の良いところを広める活動
	4	若い人も働けるような企業ができてほしい	起業する	土地を貸してもらおう
	5	人が増え賑わってほしい	行事などに積極的に参加する	地域の人々が触れ合える行事を増やす
	7	人が集まるような町になってほしい	企業の誘致など	?
	8	地域と交流がある	行事に参加する	参加してもらおう
	9	住みやすくなしてほしい	老松の良さをアピール	アピール

② 悪くならしてもらいたくない老松地区の未来像とその対策

区分	No.	悪い老松の未来	それを防ぐため自分にできること	地域の人にしてもらいたいこと
小学生	2	すれ違ってあいさつをしない	あいさつをする	
	4	もっと田畑がふえること	努力	あまり田畑を増やさないようにしてもらおう
	8	人口の減少	良いところを増やす	
	9	老松地区がなくならないでほしい	自然を守るための活動	自然を守るための活動
	10	不良が増えないこと	悪いことをしない	注意してもらおう
	11	和算に取り組まなくなることはいやだ	和算を続ける	わからない
	13	暗い雰囲気、仲が悪い	地域の行事に進んで取り組む	大人子どもに関わらず仲良くする
	17	事件が起きること	気をつける	安全対策をしてもらえば良い
	20	暗いいやな地区	みんなにあいさつをする	あいさつを返してもらったり、仲良くしてもらいたい
	23	自殺者のいない地区	見守り	見守り
	24	ゴミだらけの汚い地区にならないでほしい	ゴミ拾いをして地域の人たちと協力してきれいな環境を保てるようにする。	地域の1人1人が環境を保つために協力すること

	25	ゴミだらけの汚い地区	地域の人たちと協力して きれいな環境を保つ。	1人1人が環境を保つた ために協力すること
	26	ゴミがたくさん落ちている町	SDG s を守る	SDG s を守ってほしい
	29	汚い印象のある地域として 認知されてしまう	自発的にゴミを拾う	ポイ捨てに気づいたら拾 うようにしてもらう
中学生	1	空き家が増えない		
	2	人口減少と自然が少なくなること	呼びかけをする	積極的に協力する
	3	過疎化にならないでほしい	少しでもこの地区に住む 人が増える様にイベント を企画	地域の連携と助け合いを 大切にしてほしい
	4	過疎化しないようにして ほしい	若者をしっかり育てる	若者が楽しめそうな行事 をする
	12	行事がなくなること	行事に参加する	地域の人にも行事にたく さん参加する
	13	治安が悪くならないでほ しい	自分が悪くならない	見守りや学校教育
	14	きれいな自然がなくなら ないでほしい	無駄に木などを切ったり しない	無駄に木などを切ったり しない
	15	人がいなくならないでほ しい。	できるだけ地元の近くに 残りたい	わからない
高校生	2	寂れた地区にならないで ほしい	老松地区のことを色々な 人に話す	老松地区のピーアールな ど
	3	人がいなくなること	人口を減らさない	移住をしないでほしい
	4	住民同士の繋がりが薄れ る	近所の繋がりを大切にす る	夏まつりは続けるべき
	7	過疎にならないでほしい	人が集まるような町づく り	安心・安全なまちづくり
	8	老松地区がなくなる	わからない	わからない
	9	人がいなくなってしまう	アピールする	老松をアピールする。花公 園とか

3 協議会規約と役員名簿

①規約

老松みどりの郷協議会規約

(名称)

第1条 この会は、老松みどりの郷協議会（以下「本会」という。）と称し、事務所を老松市民センターに置く。

(目的)

第2条 本会は、豊かな住みよい地域づくりを推進することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 地域住民の参画によるまちづくりの推進に関する事。
- (2) 地域の活性化、福祉、健康、生活環境の改善に関する事。
- (3) 教育・文化の向上と生涯学習、生涯スポーツに関する事。
- (4) 安全・安心な地域づくりに関する事。
- (5) 地区内の各種団体等の活性化及び各種団体相互の連絡協調に関する事。
- (6) その他目的達成のための事業に関する事。

(組織)

第4条 本会は、老松地区に居住する者及び地区内に組織されている各種団体等〔別表1〕をもって組織する。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1人
- (2) 副 会 長 2人
- (3) 理 事 12人以内
- (4) 監 事 2人

2 会長、副会長、理事及び監事は、総会で選出する。

(任期)

第6条 役員の任期は2年とする。但し再任を妨げない。

2 補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の任務)

第7条 会長は、本会を代表し会務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代理する。
- 3 理事は、会長、副会長とともに理事会を組織し、事業の推進にあたる。
- 4 監事は、会計及び会務を監査し、これを総会に報告する。

(会議)

第8条 本会の会議は総会及び理事会とし、会長が招集する。

(総会)

第9条 総会は代議員をもって構成し、毎年5月に会長が招集する。ただし会長が必要と認めたときは、臨時に招集することができる。

- 2 代議員は〔別表2〕のとおりとする。
- 3 総会の議長は代議員の中から選出する。
- 4 総会は代議員の過半数の出席をもって成立し、その議事は出席者の過半数で議決する。可否同数の場合は、議長がこれを決する。

5 総会は、次の事項を審議する。

- (1) 規約の改廃に関すること。
- (2) 事業報告及び収支決算の承認に関すること。
- (3) 事業計画及び収支予算の決定に関すること。
- (4) 役員の選任に関すること。
- (5) その他、理事会において必要と認められること。

(理事会)

第10条 理事会は必要に応じ会長が招集し、次の事項を協議する。

- (1) 総会に付議する事項。
- (2) 総会の決定に基づく事業の執行に関する事項。
- (3) 事務局長及び事務局員の採用。
- (4) その他会長が必要と認められる事項。

(課題検討委員会)

第11条 本会に課題検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- (1) 委員会は、区長及び集落公民館長で構成する。
- (2) 委員会の委員の互選により委員長1人、副委員長1人を選出する。
- (3) 委員長及び副委員長を理事に充てる。
- (4) 委員会の開催は、会長と委員長が協議して決定する。

2 課題検討委員会は、地区民の課題について調査検討し、理事会に報告する。

(経費)

第12条 本会の経費は、会費、助成費、寄付金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第14条 本会の事務局を老松市民センター内に置く。

- 2 事務局に、事務局長及び事務局員を置き、会長が任命する。
- 3 事務局長は、会長の命により会務を処理し事務局を総括する。
- 4 事務局員は、事務局長の命を受け会務を処理する。

(その他必要な事項)

第15条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は会長が定める。

附 則

この規約は、平成26年6月29日から施行する。

この規約は、平成27年6月12日から施行する。

設立年度の事業計画及び収支予算については、理事会で決定する。

この規約は、平成29年3月23日から施行する。

この規約は、令和2年6月1日から施行する。

第2次老松地区地域づくり計画

令和4年5月31日発行

029-3103

岩手県一関市花泉町老松字藤田 274-2

老松みどりの郷協議会

電話番号 0191-82-5153